

取扱説明書

《特記事項》

それぞれの区画にパスワード有り。

《注意事項》

初回の入庫について

ご契約後は現況有姿でのお引渡しとなります。リアオーバーハング、タイヤ幅、最低地上高等車検証には記載の無いサイズもあることから、使用するお車のサイズが駐車場のサイズ制限内かどうかは必ず現地にてご自身でご確認ください。

初回入庫時には事前にサイズを確認の上、十分注意をして入出庫をお願いいたします。試し入れ時や契約後に事故等が発生した場合、貸主及び管理会社並びに保証会社では一切の責任を負いかねます。

《遵守事項》

使用者は本駐車場においては下記事項を守らなければならない。

※月極駐車場一時使用契約約款内の「遵守事項」より抜粋

- (1) 引火性物件その他危険物を持ち込まないこと。
- (2) 火気の取り扱い等をしないこと。
- (3) 車両の出入りの際は駐車位置、交通規制等の駐車場内の秩序について、管理者の指示に従うこと。
- (4) 車両の運転に当たっては安全運転をすること。
- (5) 甲又は丙の許可を得たもの以外、物品の販売、自動車の修理(簡易な修理を除く)その他秩序を乱す行為は一切行わないこと。
- (6) 駐車場において物件を損傷し又は事故を起こしたときは直ちに甲又は丙に届け出ること。
- (7) 駐車場内に空き缶・タバコの吸殻等を廃棄しないこと。
- (8) 他の車両の駐車位置を侵さないこと。
- (9) 予め駐車場の取扱説明書を確認し、その記載事項に従うこと
- (10) その他甲又は丙の定める一般的な指示に従うこと。

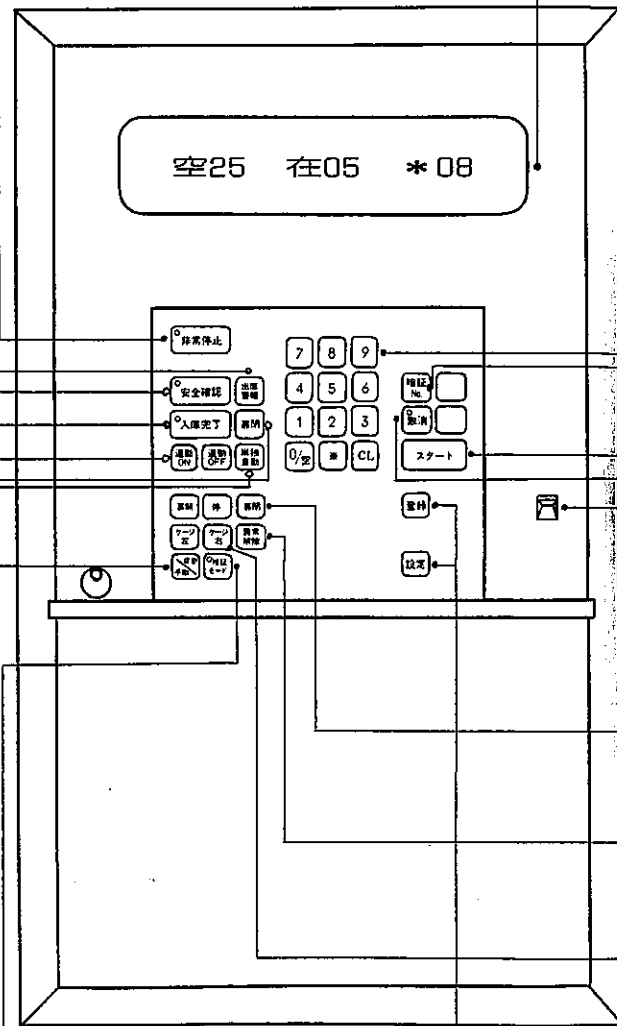
以上

2 操作盤の見方

操作方法は 9 10 を参照してください。

操作盤には、操作教育を受けた人以外は触れないようお願いします。操作は、利用者の安全に十分注意して行ってください。

プラズマディスプレイ
操作のオペレーションガイド、空車・在車パレット数、異常発生内容などを表示します。



非常停止押ボタン

非常事態発生時に使用します。押ボタンを押すと、消火設備以外のすべての装置が即時停止します。

出庫警報押ボタン

駐車場出口に車の出庫を知らせる押ボタンです。

安全確認押ボタン

安全確認したことを機械に知らせる押ボタンです。

入庫完了押ボタン

入庫車の在車登録を行う押ボタンです。

扉閉押ボタン

出入口扉を閉じる押ボタンです。

単独自動押ボタン

ターンテーブルの単独運転を行う押ボタンです。

連動ON, OFF押ボタン

ターンテーブルと本体駆動をさせるかいないかの選択押ボタンです。

(注) 切換えは、手動にしないと切り替りません。

自動手動切換押ボタン

手動運転操作と、自動運転操作の切換えを行う押ボタンです。自動の時はランプが点灯しています。


(注) 特別な場合を除き自動にしておいてください。

暗証モード切換押ボタン

暗証No.で運転する時に使用する押ボタンです。このボタンを押すと、暗証機能だけしか受けつけなくなります。

(注) キーボードからのケージNo.呼びによるケージ直接呼びはできません。

キーボード


1. ケージ呼びおよび暗証No.呼びに使用する押ボタンです。
2.  空ケージ呼び
入庫に備え、空ケージを効率よく呼び寄せるための押ボタンです。

ボタン

登録中の設定間違いを取り消す押ボタンです。
(注) 設定押ボタンを押した後は機能しません。

ボタン

特殊用途に使用する押ボタンです。使用についてはご相談ください。

 暗証No.によるケージ呼び操作時に使用する押ボタンです。このボタンを押した後にキーボードで暗証No.を押すと、指定ケージが呼びだされます。

取消

1. 設定内容を取り消す押ボタンです。
2. 自動運転中、呼びケージをキャンセルする場合に使用する押ボタンです。
(注) 非常停止ではありませんので、機械作動の即時停止にはなりません。
3. 一部の故障表示解除に使用する押ボタンです。

スタート

自動運転によるケージ呼びの起動押ボタンです。

電源

本体操作盤の電源ON/OFFスイッチです。

扉開閉押ボタン

手で出入口扉の開閉を行う押ボタンです。

異常解除押ボタン

ディスプレイに表示された異常表示を消す時に使用する押ボタンです。

手動運転押ボタン

手動運転に使用する押ボタンです。

設定

登録時あるいはメンテナンスモードの際にキーボードで押したデータを記憶させる押ボタンです。保守点検時に使用しますので常時は使用しないでください。

登録

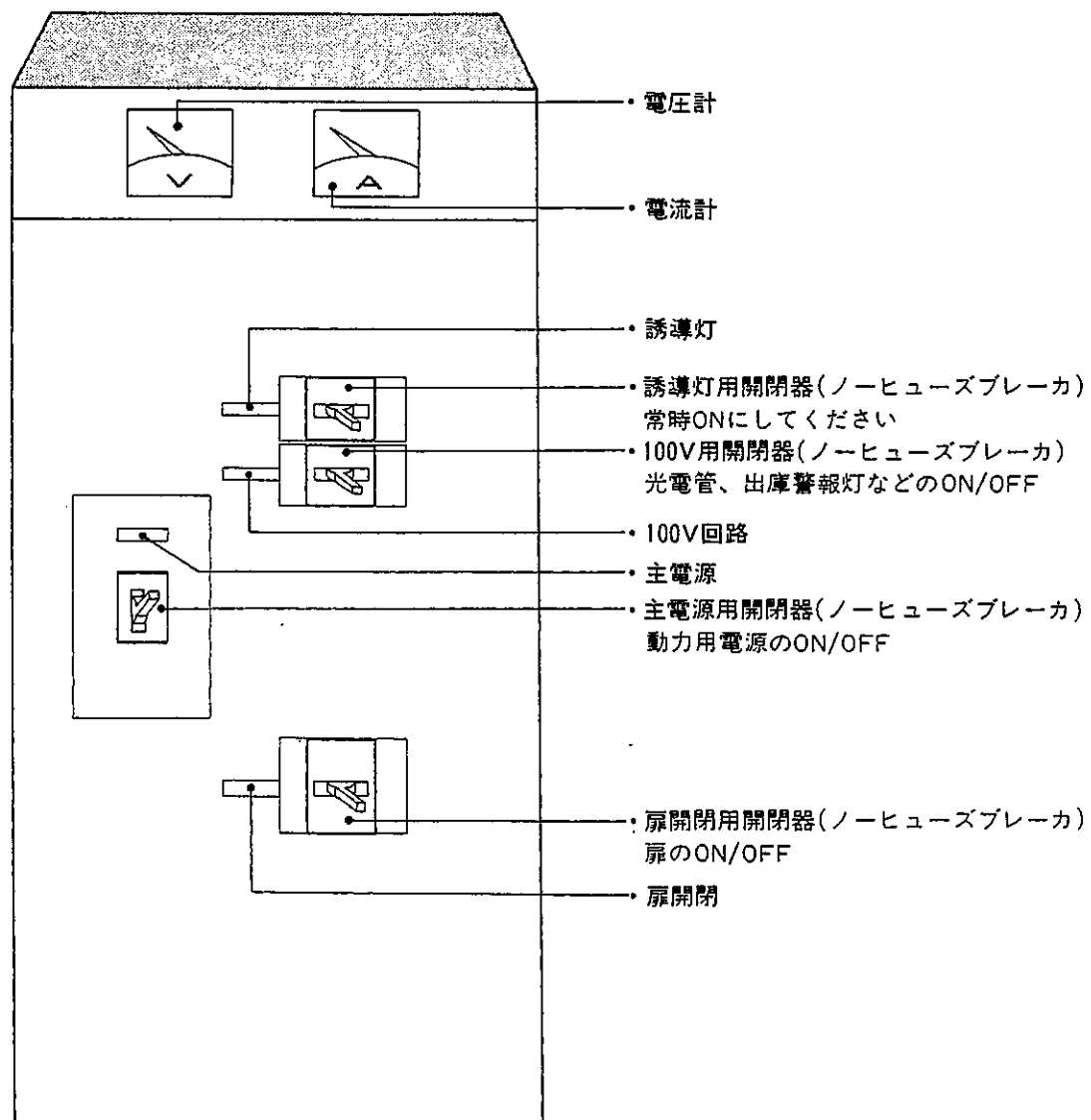
情報登録時に使用する押ボタンです。常時は使用しないでください。

3 分電盤

利用者がさわらぬよう注意してください。

分電盤は、駐車場設備に供給する電気を中継するものです。

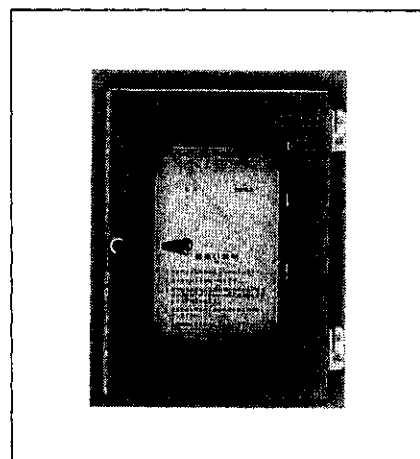
- (注) 1. 自動的に遮断した時はサービスセンターへ連絡してください。
 2. 電源のON/OFF操作は、かならず管理者が行ってください。
 3. 設備によってスイッチ類の配置が異なる場合があります。



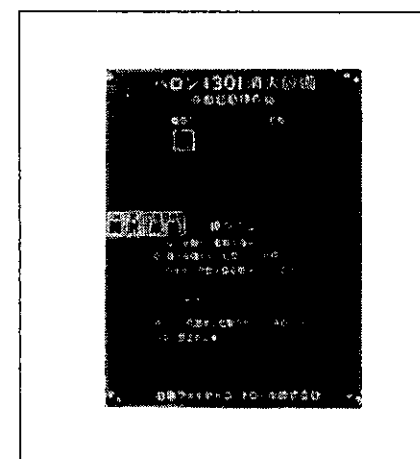
4 消火設備

あなたが管理されるパーキングには、次のような消火設備操作盤がついています。設備によっては、盤面が異なる場合もあります。

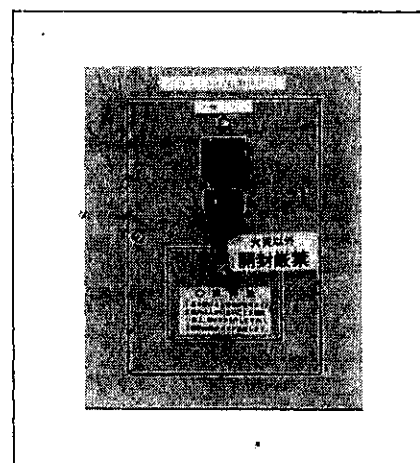
あなたのパーキングに設置されている
 消火設備は 製です。



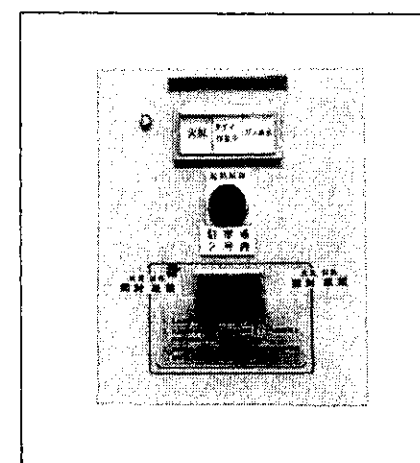
日本フェンオール(株)製



日本ファイヤーコントロール(株)製



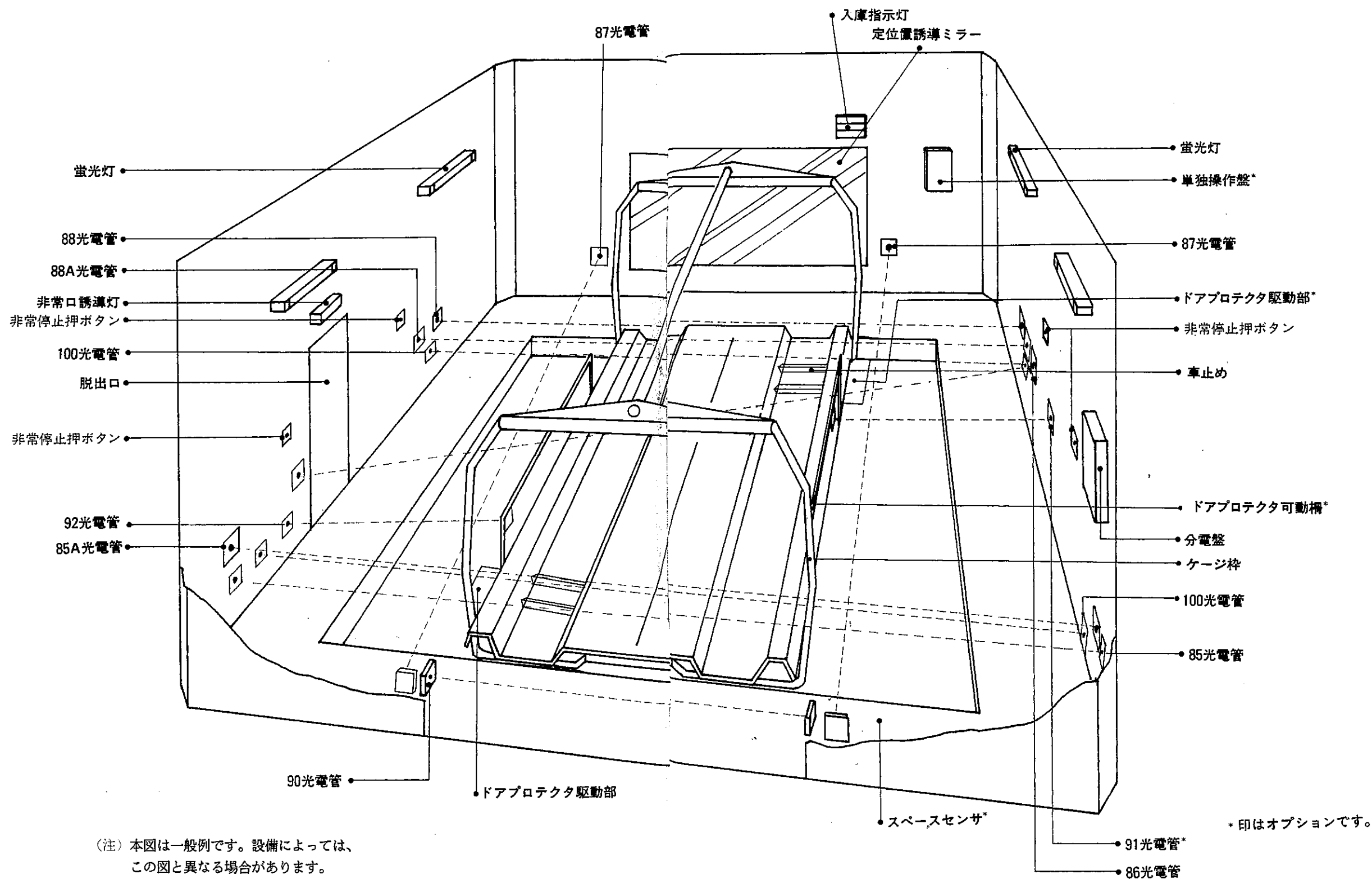
日本ドライケミカル(株)製



日昭産業(株)製

操作については、別渡しの「消火設備取扱い説明書」を参照ください。

5 パーキング内の設備



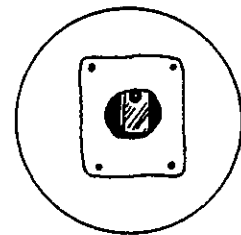
光電管

光電管は、光により障害物を検知し、パーキング内の安全を確保するもので、次のような役割をもっています。

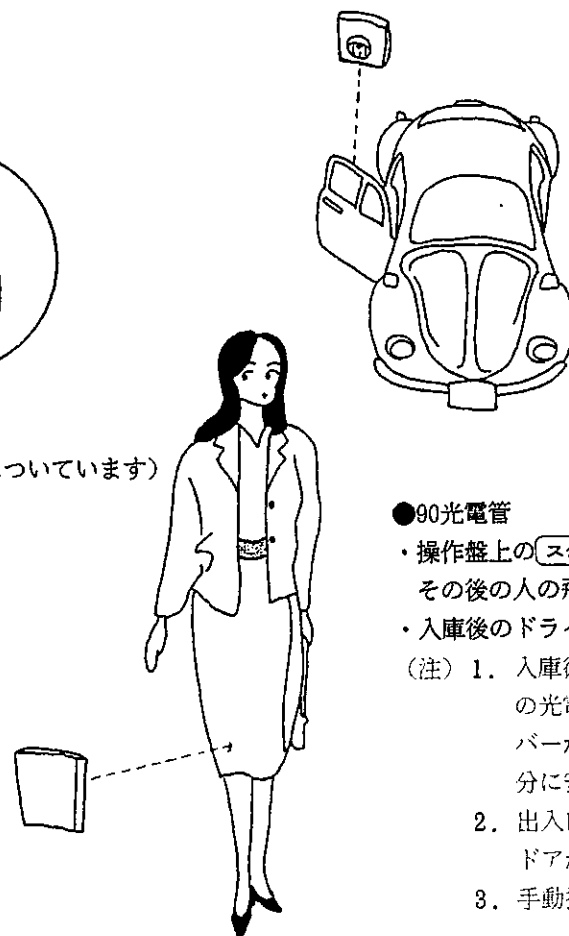
- パーキング内の正常運転のための安全確保
- パーキング内の障害物検知
- 人間の検知
- 車のはみ出し検知
- 在車確認
- 飛込み検知

(注) 光電管の光を遮ることにより、パーキング内の障害物検知、人間検知を行い、ケージが回転しないようになっています。

光電管の光を遮らない所に人がいたり、障害物があったときには検知できません。パーキング内の人、障害物の確認は、利用者の目視確認と合わせて行ってください。



作動確認ランプ
(受光器側だけについています)



●90光電管

- ・操作盤上の「スタート」押ボタンを押すと機能し、その後の人の飛込み検知を行います。
- ・入庫後のドライバー退出を検知します。

(注) 1. 入庫後、ドライバー以外の人や物がこの光電管の光を遮った場合は、ドライバーが退出したとみなされますので十分に安全確認には注意してください。
2. 出入口扉がパネルドアの場合、パネルドアが閉まると作動しません。
3. 手動操作時は作動しません。

●86光電管

ケージ内の在車確認を行います。

●85A・88A光電管

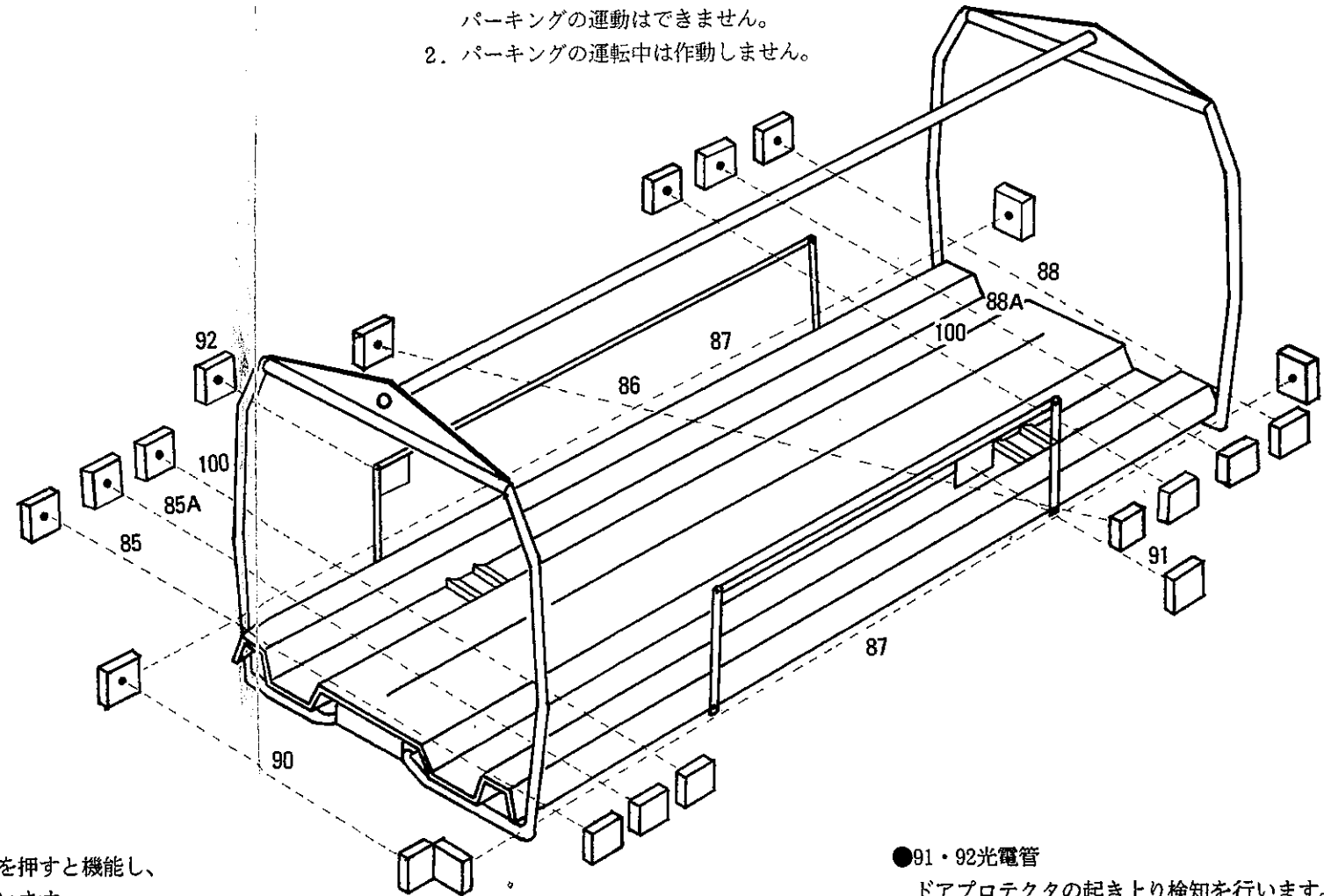
パレット上の車の定位置停車確認のために設置しています。

(注) 1. 光電管85A・88Aを遮っている場合は、パーキングの運動はできません。
2. パーキングの運転中は作動しません。

●87光電管

障害物検知を行います。この光電管の光を遮っていると、パーキングの運転ができません。

(注) 1. パーキングの運転中は作動しません。
2. 手動操作では作動しません。



●85・88光電管

車のケージ外はみ出し検知と障害物検知、および運転中の障害物検知を行います。タワーパーキング運転中に、この光電管の光を遮った場合、ケージは即時停止します。

●91・92光電管

ドアプロテクタの起き上がり検知を行います。

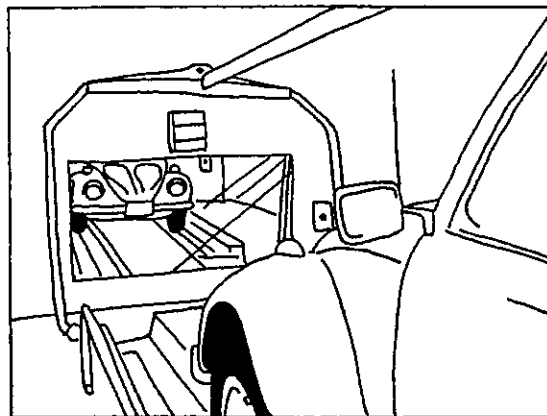
●100光電管

パレットとケージ枠が正常にはまりこんだことを検知します。

※光電管の番号および名称は、IHI固有のものです。

定位置誘導用ミラー

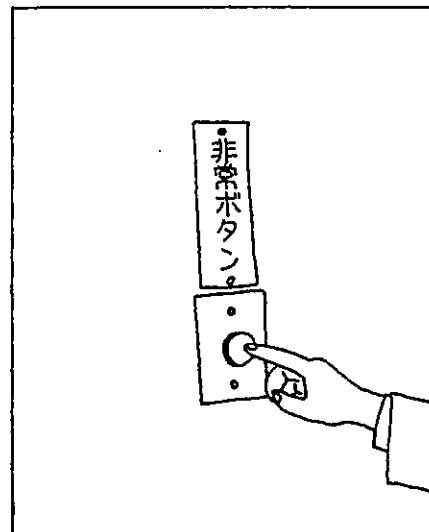
入口正面の壁に取付けた鏡で、パレットに車を乗入れる際に、車を鏡に映し出し、乗入れを容易にするためのものです。



非常停止押ボタン

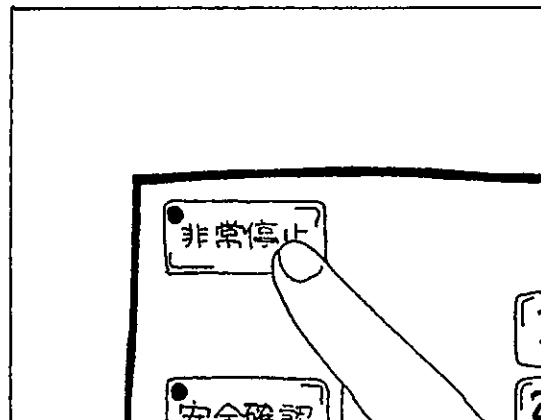
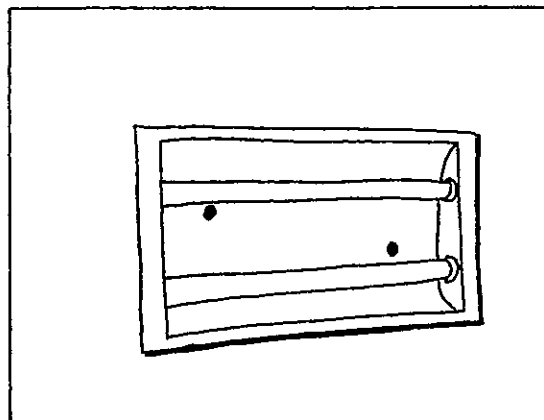
運転を緊急に停止させる押ボタンで消火設備以外のすべての装置が直ちに停止します。赤く目立つ押ボタンで、パーキング内の壁に4ヵ所、操作盤、単独操作盤に各1個設置しています。

- (注) 1. 消火設備に対しては効果はありません。
2. 非常時以外は絶対に押さないよう指導してください。
3. 非常停止押ボタンは **非常ボタン** または **非常停止** と表示されています。



照明設備

パーキング内には蛍光灯を設置しています。

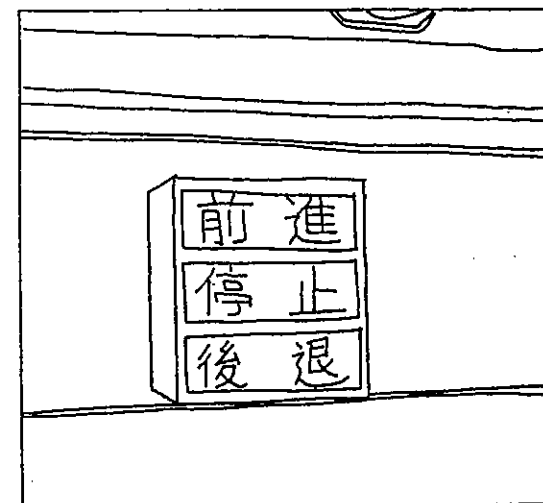


入庫指示灯

車の入庫動作の安全確保のために設置してあります。

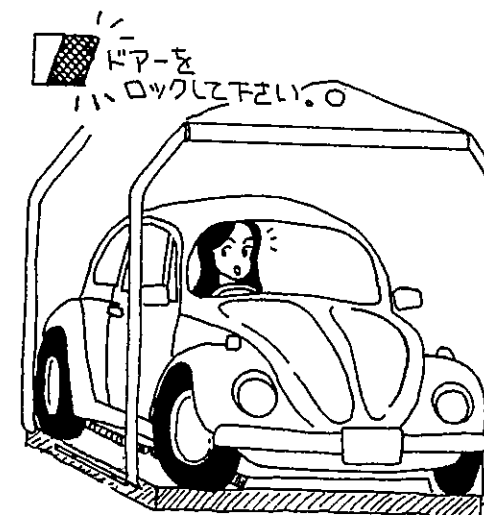
“お入りください”または“前進”のランプが点灯しないうちに入庫すると、重大事故の原因になりますので、点灯を必ず確認し、入庫するよう指導してください。“お入りください”または“前進”のランプの点灯は、空ケージが所定の位置に着床しており、パーキング内に入庫が可能なことを示しています。

(注) 設備によっては、上記と異なる入庫指示灯が装備されている場合があります。



ガイドコーダ

ガイドコーダは、入庫の際自動的に作動し、ドライバーが安全確認すべきことをガイドします。ガイド内容を順守してから車を降りるよう指導してください。



6 オプション設備

オプション設備は、パーキングによって装備されていないものがあります。また、設備によっては、掲載装置と異なるものが装備されている場合があります。

ドアプロテクタ

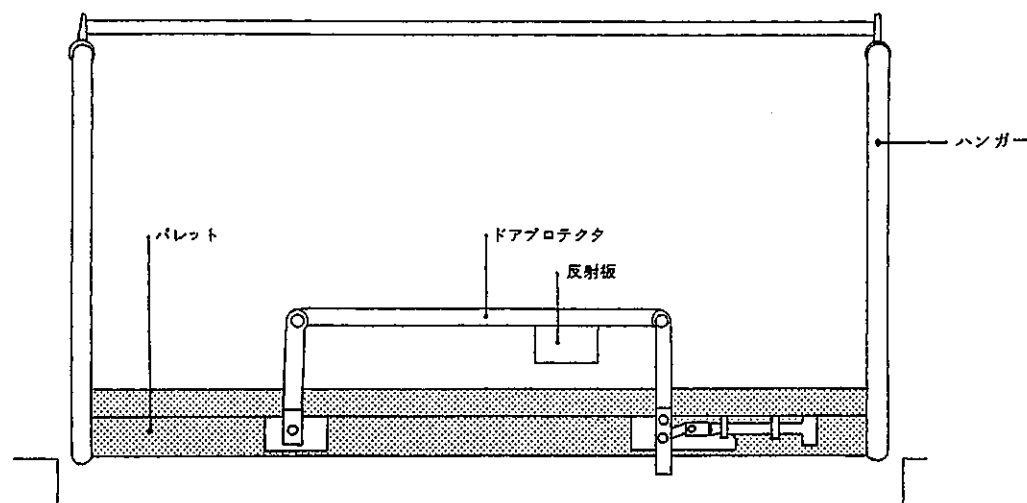
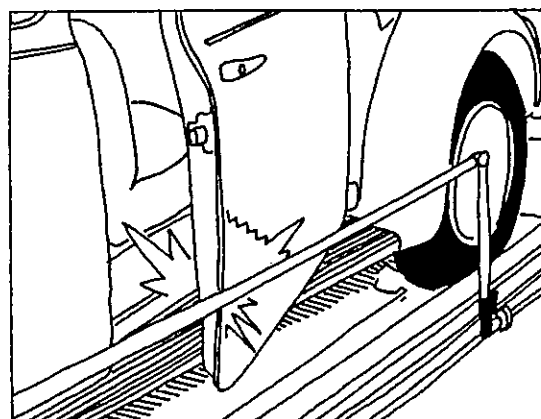
車のドアのケージ外はみ出し防止装置です。ケージの回転中に車のドアがケージからはみ出して起こる事故を防止するための装置で、閉め忘れた車のドアを自動で閉める装置ではありません。

ドアが開いて、ドアプロテクタが起立できない場合、ドアプロテクタ異常となり、タワーパーキングは起動しません。

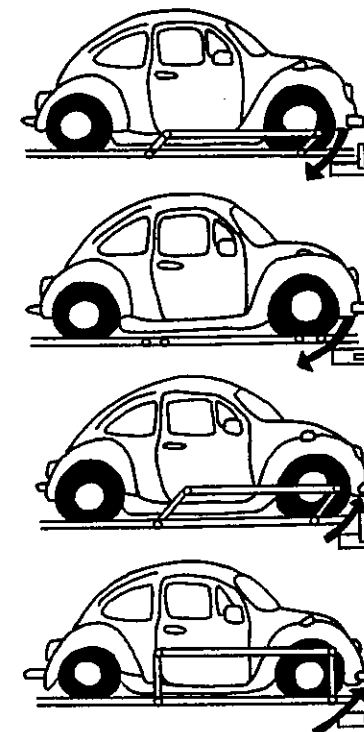
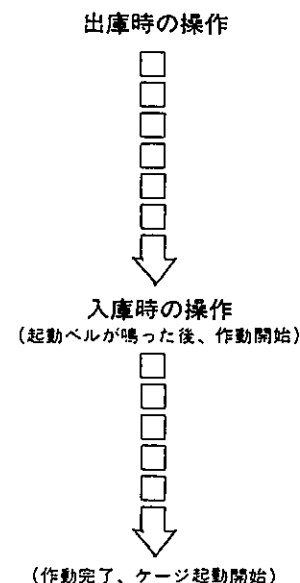
ドアプロテクタ異常の場合は64ページの「ドアプロテクタ」の処理の手順により復旧してください。

●利用者に対する指導事項

1. 利用者には、ドアプロテクタに手をふれさせないよう注意してください。
2. 車のドアは完全に閉めさせてください。開いたままですと、ドアプロテクタが作動したとき、ドアを傷つけることがあります。

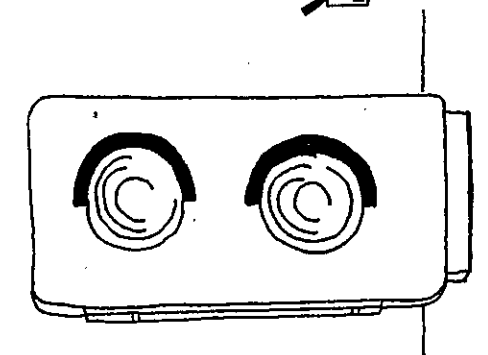


ドアプロテクタの動き



出庫警報灯

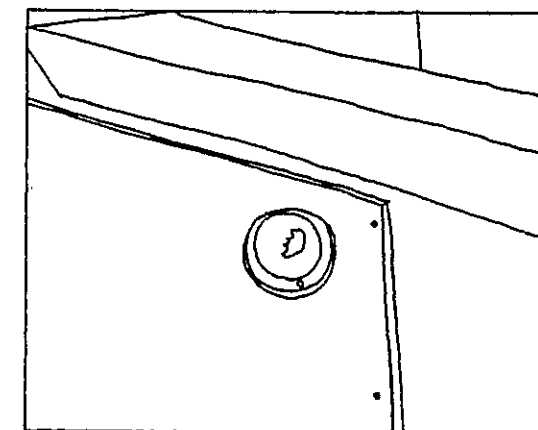
駐車場の出入口に設置しており、外を通る車や入庫する車、また通行人などに在庫する車のあることを知らせます。



スペースセンサ

パーキング内の移動体を検知する遠赤外線センサで、検知中はパーキングの運転ができません。

- (注)
1. 車の中の移動体は検知できません。
 2. パーキング内で人間が静止している場合は検知できません。
 3. 検知は機械が停止している時だけ行います。
 4. 車の陰にある移動体は検知できません。



7 ご使用にあたっての指導と注意

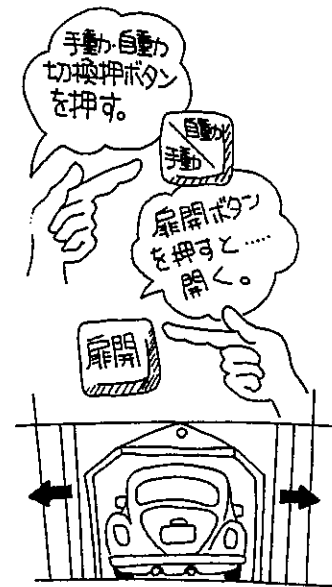
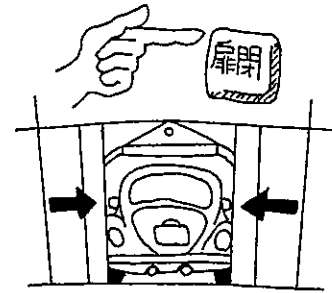
パネルドア

呼ばれたケージが所定の位置に着床すると、パーキングと連動して自動的に扉が開きます。扉が開いている状態でケージ呼寄せ操作を行うと、扉は自動的に閉まり、パーキングが作動します。

- (注) 1. 入庫完了時は「入庫完了」押ボタンで扉が閉まります。出庫時は、次のケージの呼寄せ動作か、操作盤上の「扉閉」押ボタンを押さない限り閉まりません。
2. 扉は出入口部の光電管を遮光すると閉まりません。また閉動作中のときは反転して開きます。
3. 「手動/自動」押ボタンを手動にすると、「扉閉」押ボタンで開閉操作できます。

●利用者に対する指導事項

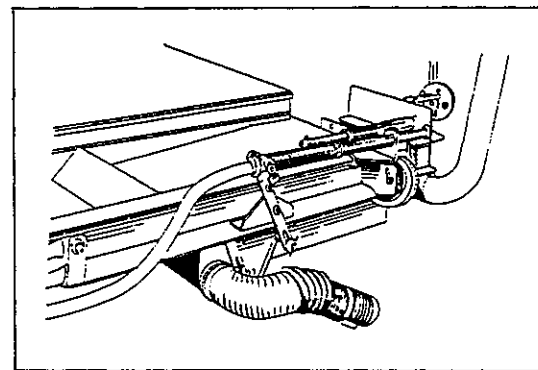
- ・入出庫完了後は、かならず扉を閉じたのち退場するよう指導してください。



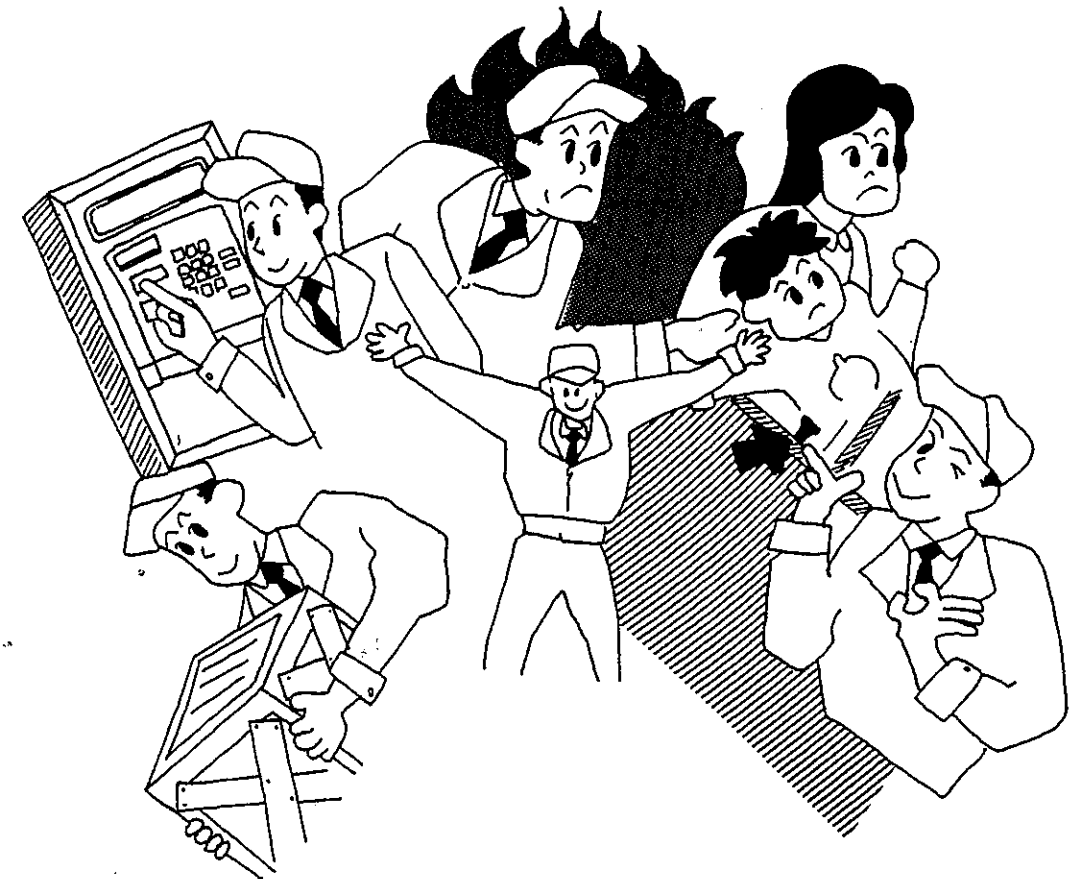
パレット水タンク

積雪量の多い地域などで、車のボディ、シャーシなどに付着した雪が駐車中に溶け、パーキング内の他の車や設備を汚すことがないようにパレット1台ごとに設けられた集水用タンクです。

- (注) 1. ドロなどが沈澱していますので、適時フタをとり、中を清掃してください。
2. 手動式の場合は、水があふれないよう随時排水してください。
3. 設備によっては、水タンクと水抜きホースの位置が異なる場合があります。

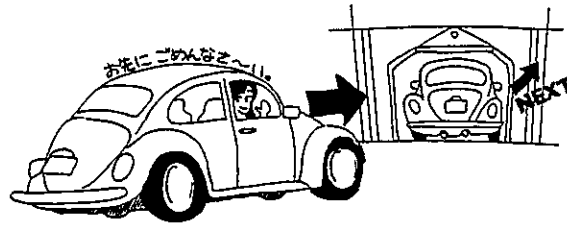
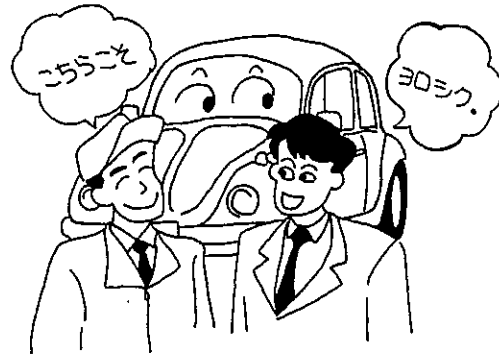


パーキングの操作には、暗証No.呼びで行う操作と、ケージNo.呼びで行う操作の2種類があります。暗証No.呼びで行う操作の場合は、定められた利用者が操作をするため利用上の安全管理は、利用者が責任をもって行うことになります。1人の不注意が利用者全員に迷惑をかけることを十分説明し、ひとりひとりがルールを守って安全で快適なパーキングにするよう指導してください。



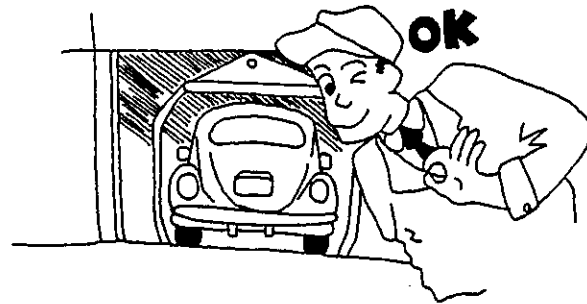
1. マナーを守りましょう。

パーキング使用中は、安全に十分注意を払ってください。利用者が安全に反する行為をしている場合は、厳重に注意してください。



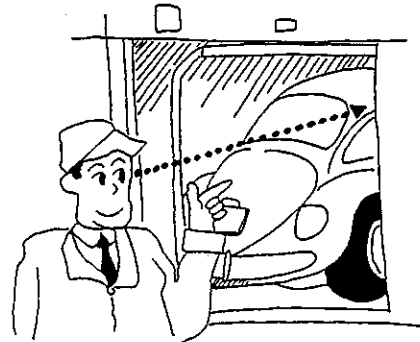
指導のワンポイント

前面空地が狭い場合、入庫時の待機スペースが問題となります。先に入庫させてから出庫した方がスムーズで、結果的にも早く入出庫できます。また、操作中にパーキングから離れるなどの行為は絶対に慎むよう指導してください。



2. 庫内の無人を確認してください。

操作するときには、庫内に人がいないことをかならず確認したうえで行ってください。

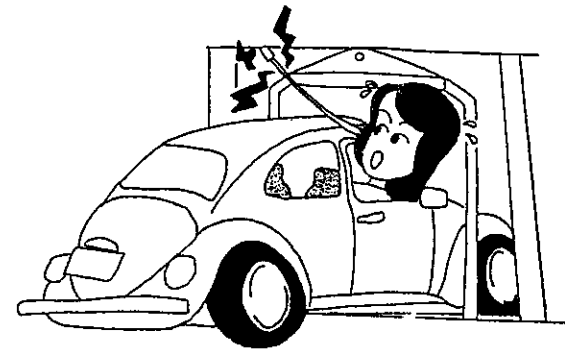
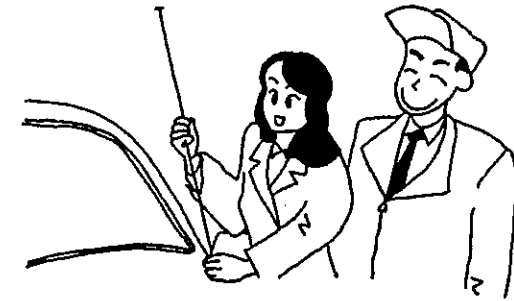


指導のワンポイント

パーキングの安全運転の第一歩は、まず庫内に人がいないことを確認することからはじめられます。光電管と安全装置を設置してありますが、車内の人間検知をはじめ、すべてを満足する人間検知はできません。利用者の目視確認とあわせて実施してこそ安全な駐車場になることを繰り返し説明してください。

3. 入庫前にはアンテナを下げてください。

アンテナを下げないで入庫すると、ケージにぶつかってアンテナが折れたり、駐車設備の事故につながる可能性があります。



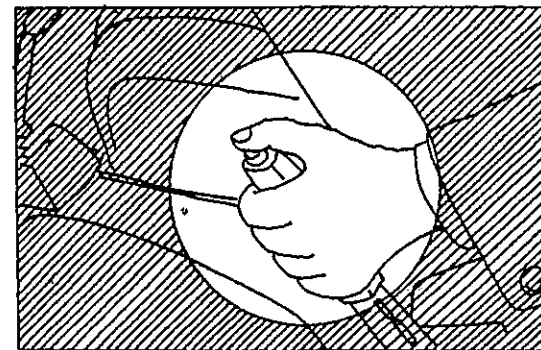
指導のワンポイント

アンテナぐらいと軽く考えがちですが、これまでアンテナが損傷し、トラブルが起きた事例がたくさんあります。アンテナを下げないと高さ制限を越えることが多く、車やパーキングに損傷を与える可能性が高いことを繰り返し説明してください。また、スキーキャリアなどのついた車は入庫させないよう指導してください。

契約利用者以外の利用者を入庫させる場合は、アンテナを下げているか特に注意し、あわせて確認してください。

4. 必ずサイドブレーキを引かせてください。

駐車するときは、ギヤをローかバックに入れ、サイドブレーキを引く（オートマチック車はPレンジ）ことを徹底させてください。



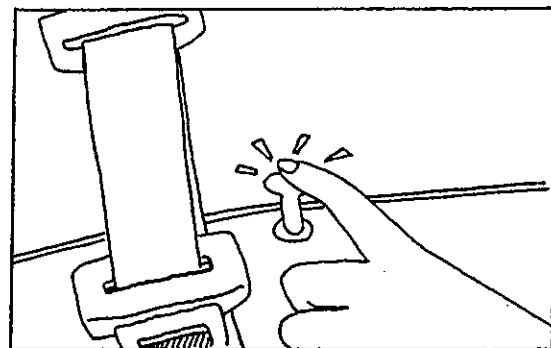
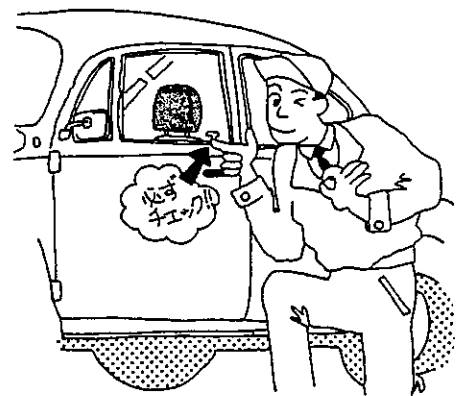
指導のワンポイント

車が定位置よりずれた場合、機械に接触することがあります。サイドブレーキ、ギヤを入れることの重要性を十分に説明してください。操作前に駐車状況を再確認するくらいの心がけが必要です。

5. 車のドアは確実に閉めさせてください。

車のドアを閉め忘れると、ドアを破損したり、駐車設備に重大な影響を与えることがあります。ドアはかならずロックし、確実に閉めることを徹底させてください。

契約利用者以外の利用者が入庫する場合は、ドアロックをしたか必ず確認してください。



指導のワンポイント

機械とパレットのすき間は、わずかしかがあいていません。車のドアを閉め忘れてパーキングを運転すると、振動によって車のドアが開き、かならずといってよほど車のドアを破損し、パーキングが運転不能になるような事故につながることもあります。操作前にならずドアロックするよう指導してください。

6. 同乗者は入庫前に降車させてください。

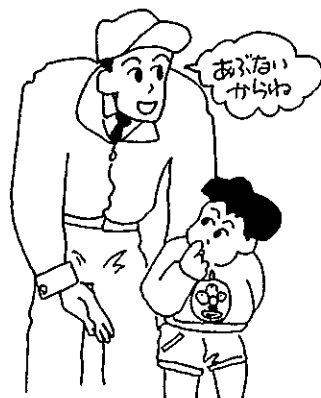
入出庫の際、同乗者（特にお子さま）に十分気をつけてください。同乗者は入庫前に必ず降車させてください。

管理者自身がパーキングを操作する場合は、車の中に同乗者が乗っていないか、パーキング内に同乗者等が入っていないかをかならず確認してください。



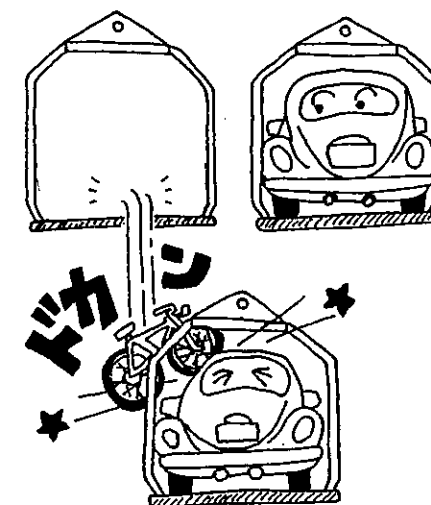
指導のワンポイント

パーキングは、その危険性をよく知っている人にはむしろ安全な機械ですが、子どもなどはルールを知らないため、時として重大事故につながりかねない危険な行為をとることがあります。同乗者の安全はドライバーの方が握っていることを繰り返し説明してください。



7. ケージには車以外のものを置かないでください。

ケージに自転車やミニバイク、箱等を置くと、運転中落下するおそれがあります。また、ケージとタワーにはさまったりして重大事故を起こすことも考えられますので、入庫可能車以外は駐車させないでください。



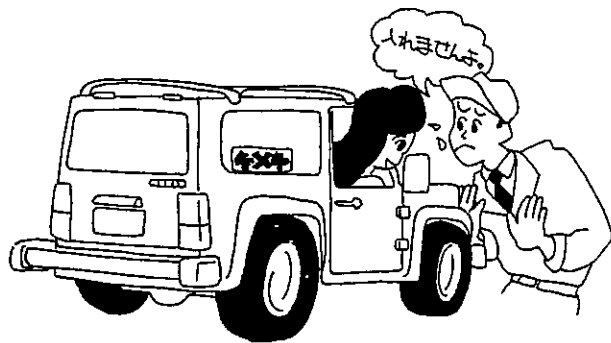
指導のワンポイント

パーキングは、正しい駐車、入出庫に対しては安全設計されていますが、反面、車以外の格納保管に対しては、安全上何ら配慮を施していません。車以外の格納は、法的にも禁止されていますので、入庫可能車以外は絶対に入庫させないでください。

8. 入庫可能条件を満たす車以外は入庫できません。

入庫可能条件を満たしていない車を入庫させると、駐車設備に重大な支障をきたし、大きな事故につながることも考えられます。入庫可能条件を満たしていない車は、絶対に入庫させないでください。

(注) 29ページ「利用許可を与える場合」を参照してください。

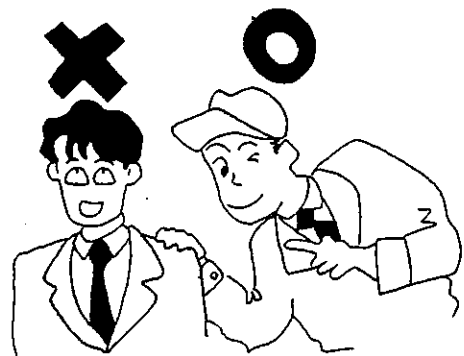


指導のワンポイント

平面駐車場の場合、1台のルール無視の行動は、最小限の範囲の迷惑ですみませんが、機械式駐車場の場合は、利用者全員が“ルールを守る”という鎖で連結されているため、1人のルール無視が全員に迷惑をかけることになります。このことを強く説明してください。また、管理者は入庫可能車を的確に判断し、入庫可能条件を満たさない車は絶対に入庫させないでください。

9. 操作は必ず教育を受けた人が行ってください。

教育を受けた人以外には、絶対に操作させないでください。友人や顔見知りなどから操作を申し出られても必ず断ってください。



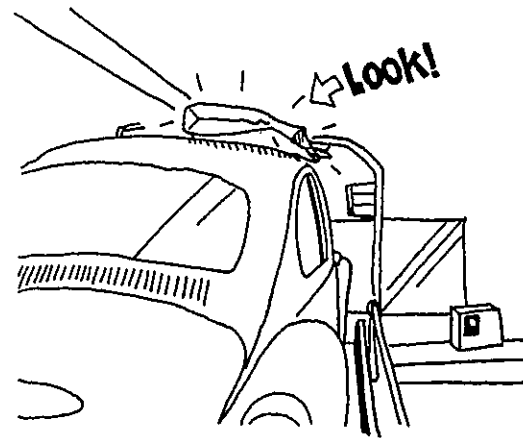
指導のワンポイント

パークイングの操作は、教育を受けた人とそうでない人では、ルールに対しての意識がまるで違います。ルールを知らないために、通常操作の安全確認や緊急時の対処等を欠き、重大事故をひき起こす可能性があることを十分認識させてください。



10. 荷物は入庫前にならず降ろさせてください。

荷物は入庫前にならず降ろさせ、パークイング内での荷物の出入れは絶対にさせないでください。また、パークイング内では車の入出庫作業以外はできません。パークイング内で、車の修理、洗車、点検等は絶対にさけてください。

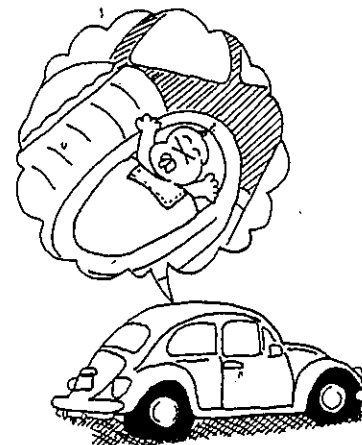


指導のワンポイント

車からの荷物の出し入れは、前面空地で行うよう指導してください。中で行くと、車のドアを閉め忘れたり車のルーフやボンネットの上に荷物を置き忘れることがあり、運転中に落下し他の車を傷つける等のトラブルにつながる可能性があります。またパークイング内で修理、洗車、点検等を行うと、他の利用者の迷惑となります。たとえば洗車道具類をパレット上に忘れたまま操作、運転をしたり、パークイングのドアから子どもが入ってきて、中の設備をいたずらするおそれもあります。いずれにしろ、トラブルや事故の原因となりますので、絶対にさせないでください。

11. 車内に動物をおきざりにしないでください。

子どもやイヌ、ネコなどのペットを車内に置きざりにすると危険です。

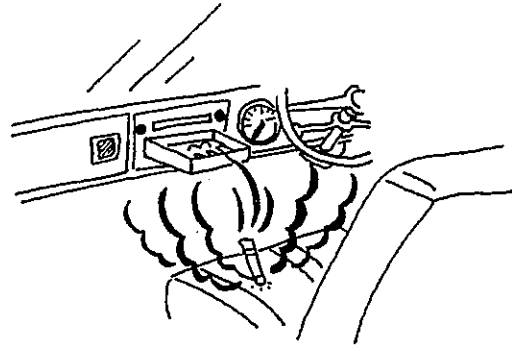


指導のワンポイント

ちょっとの間だと思って、睡眠中の子どもやペットなどを車内に残すと、火災や事故発生時、その他の要因により、最悪の場合、死に追いやる結果にもなりかねません。生き物を車内に絶対残さないよう指導してください。

12. パーキング内は火気厳禁です。

パーキング内は、車とともに多量のガソリンが持ち込まれているため、タバコの火などには十分気をつけてください。

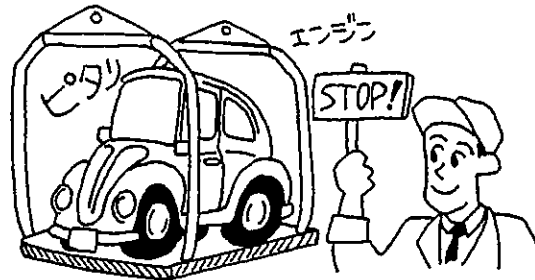
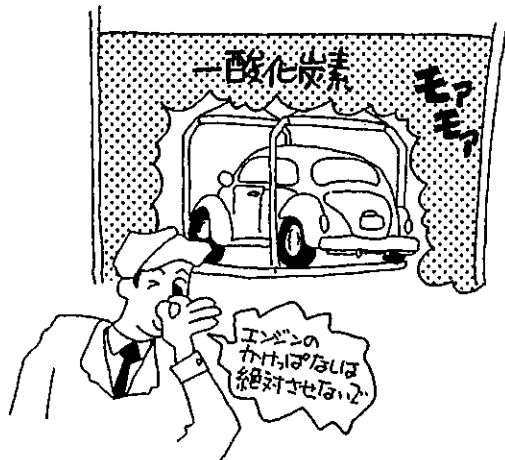


指導のワンポイント

パーキング内の火災は、タバコの火の不始末が一番多いようです。ケースとしては、車の灰皿に置いたタバコがシートに落ちて火災になる、タバコの火をよく消さないでパーキング内に捨てる、ことなどが考えられます。くわえタバコをしながら、運転しているドライバーには、タバコの火を消してから入庫するよう指示してください。パーキング内は火に対して敏感であることを認識し、利用者に徹底させてください。

13. 駐車時は車のエンジンを切ってください。

エンジンをつけていると、排気ガスがパーキング内に充満し、一酸化炭素中毒や加熱火災を起こすことも考えられます。入庫が完了したら、ただちにエンジンを切ることを徹底させてください。

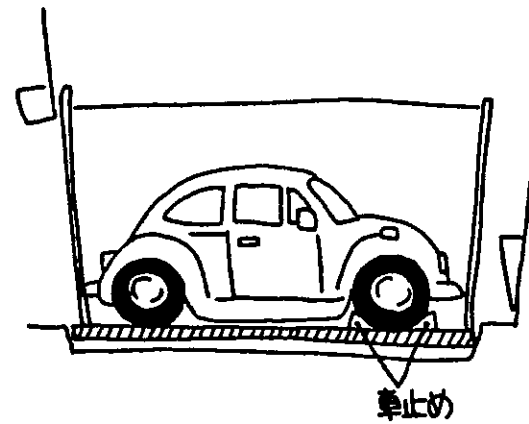


指導のワンポイント

パーキングには換気ガラリがついていますが、車の出す排気量はかなりのものです。エンジンをかけたまま駐車すると、一酸化炭素が中に充満し、非常に危険であり、火災報知器の誤動作の原因にもなります。必ずエンジンが停止していることを確認してください。道路交通法上でも「車から離れる場合はエンジンを切る」とあり、守らなければ罰せられます。「エンジンを切る」ことを習慣にするよう指示してください。

14. ケージ上停止位置の確認を行ってください。

車をケージ内に停止した場合、車がケージ内位置に入っているかどうか、前後左右の中央に位置しているかどうかを確認してください。車がケージよりはみ出している場合は、必ず正しい位置に直させてください。はみ出したままでパーキングを操作しても装置は運転できません。

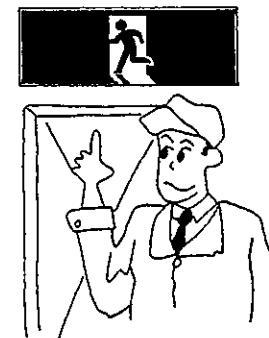


指導のワンポイント

パーキング内に車を駐車する場合は、ケージ内位置に駐車するよう指示・誘導してください。パーキングは、狭い場所を有効利用しているため、安全に駐車できる最小の隙間で設計しています。車のはみ出しは事故につながります。車がケージ内位置に入るよう指導してください。

15. パーキングには非常口があります。

パーキングには非常口として「脱出口」を設けています。脱出口は、火災発生時等パーキング内にとじ込められた場合に使用するもので、非常時以外は使用しないでください。



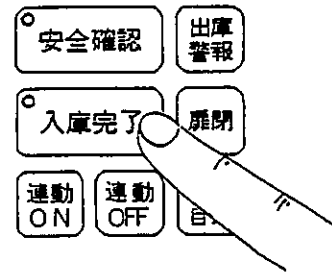
指導のワンポイント

非常口にはセンサが設置されており、非常口が開いていると装置は作動しません。設備によってはパネルドアに非常口が設置されている場合があります。

8 利用許可を与える場合

16. 入庫したら必ず「入庫完了」押ボタンを押してください。

パーキング内の安全確認後、「入庫完了」押ボタンを押すとブザーが停止し、ドアが閉まり、入庫したことが登録されます。この時、「入庫完了」押ボタンを押し忘れると未登録となり、スムーズな出庫の妨げとなります。「入庫完了」押ボタンは確実に押してください。



指導のワンポイント

「入庫完了」押ボタンは、次の車を入庫させるためのスタートのボタンともいえます。安全上、そして円滑な操作を行うためにも大切な押ボタンとなります。「入庫を完了したら、安全を確認して、「入庫完了」押ボタンを押す」。これを必ず励行するようにしてください。

1. 外観

契約利用者の車検証から、入庫が可能かどうかをチェックしてください。

(注) トラック、二輪車などは絶対に入庫させないでください。

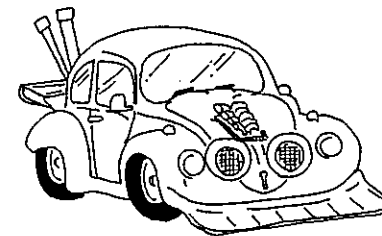
2. 突起物

車から突起物が出ていないかどうかをチェックしてください。突起物により入庫が不可能と判断した場合は、突起物を取除いてもらうか、駐車を断ってください。



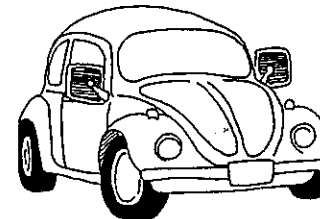
チェックポイント

1. 改造車



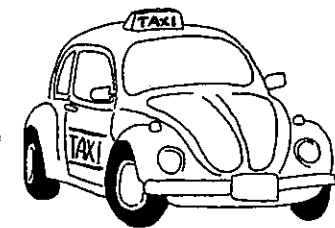
改造によって車高の下がった車は、パレット床面と当たる場合がありますので注意してください。

2. 特殊な大型のドアミラー

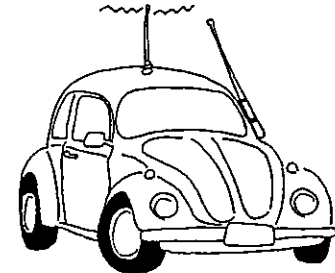


タイヤ側面から170mm以上ドアミラーが張出している場合、車の入れ方によってはケージ枠に当たることがありますので注意してください。

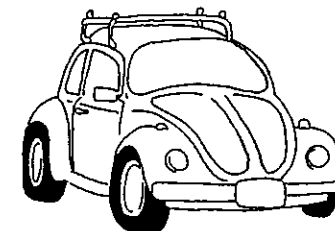
3. タクシーの防犯灯



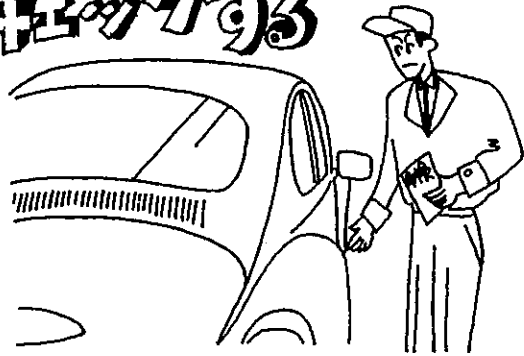
4. ハムのアンテナ



5. スキーキャリア



チェックする



3. 取扱い方法の説明

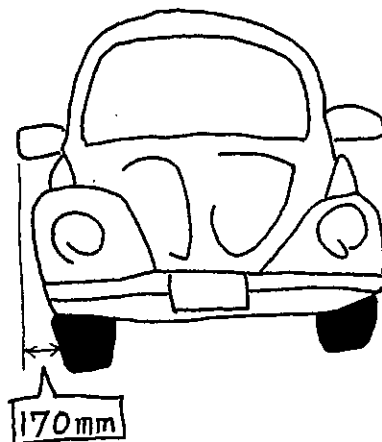
利用者用取扱いマニュアルにより、パーキングを利用する可能性のある人全員に、取扱い方法を熟知するよう説明してください。説明後、利用者ひとりひとりに運転操作を実施させ、正しい取扱いができる人だけ名前を登録し、許可を与えてください。



4. 車を買替えた場合

利用者が車を買替えた場合は、車検証を受け取って、入庫可能車かどうかをチェックするとともに、車に突起物があるかどうかチェックしてください。

タイヤ側面からドアミラーまでの出張りが170 mm以上の車は、入れ方によってはケージ枠に当たる場合もありますので注意してください。

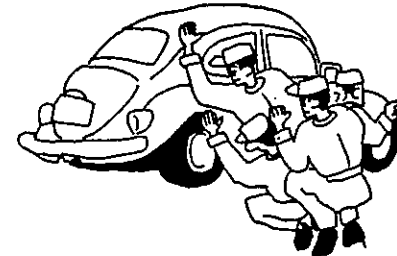


許可を与えるまで

1. 車検証で車の外形寸法および車両重量のチェック



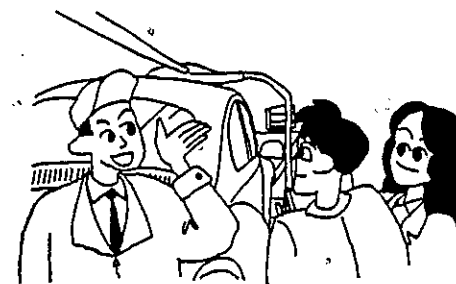
2. 車の突起物チェック



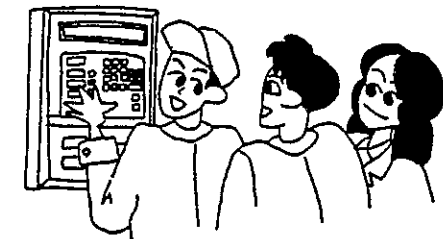
3. 取扱い方法の説明



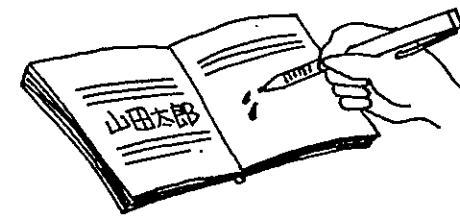
4. 現場にて説明



5. 管理者による実施指導



6. 名前を登録



7. 許可を与える

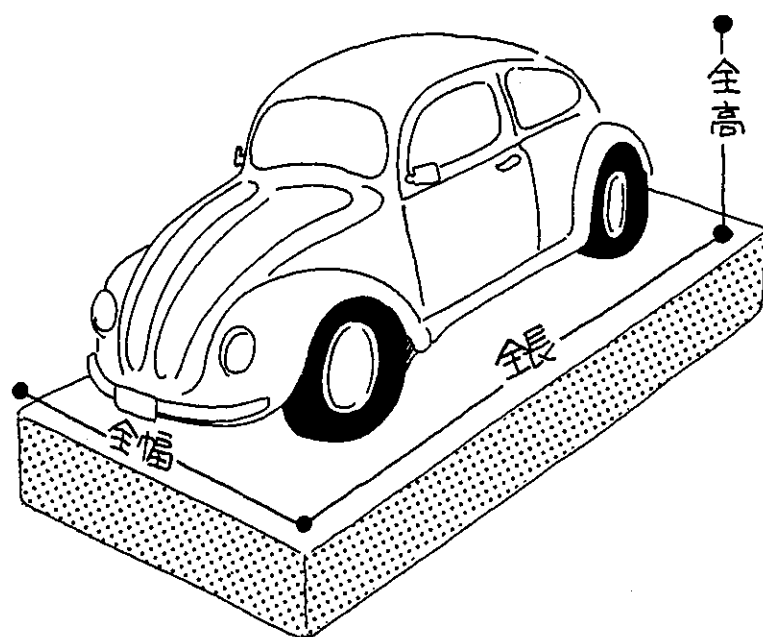


9 自動運転の方法

チェックポイント

1. 利用可能車寸法

	S-8型	M-8型	L-8型			
全長	4750mm	5050mm	5750mm	mm	mm	mm
全幅	1750mm	1850mm	2050mm	mm	mm	mm
全高	1550mm	1550mm	1550mm	mm	mm	mm
重量	1600kg	1600kg	2200kg	kg	kg	kg
タイヤ側面間	1640mm	1760mm	1860mm	mm	mm	mm



2. 形式別入庫可能車種の目安

S-8型	2000cc以下の国産乗用車
M-8型	プレジデント、センチュリークラスを除く国産乗用車
L-8型	すべての国産乗用車

(注) ただし改造車は除きます。

1. 自動運転にあたって

パーキングの運転は、通常自動運転で行います。操作方法は、暗証No呼びとケーjNo呼びにわかれています。基本的には暗証No呼びで運転しますが、ケーjNo呼びも可能です。

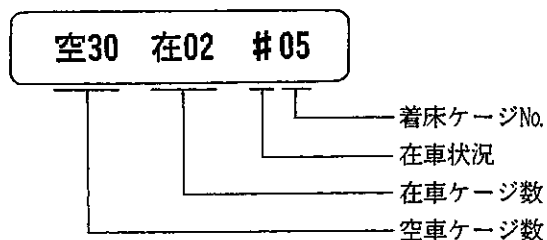
暗証Noによる操作は、原則的に契約利用者自身が操作する方法です。契約利用者に操作を十分指導

し、完全にマスターした上で操作をさせてください。また、操作は以下の順序に従って、安全な入庫を心がけるよう指導してください。

●ディスプレイの通常表示

パーキングは、操作盤上のディスプレイを確認しながらボタン操作を行って運転します。

通常の運転中で、入庫待ち、または出庫待ちの状態では、ディスプレイに次のような通常表示が表示されています。



●着床ケーjNo.

現在、着床しているケーjの番号

●在車状況

現在、着床しているケーjの状況で、在車の場合「*」、空車の場合は「#」を表示します。

●在車ケーj数

パーキング内の在車ケーjの数

●空車ケーj数

パーキング内の空車ケーjの数

2. 入庫操作方法

パーキングへの車の入庫は、以下の順序で行います。

(1)入庫ケーj呼び操作(空ケーj呼び)

①暗証No呼び ②ケーjNo呼び

- ↓
- (2)入庫車の確認
- ↓
- (3)前面空地での入庫誘導準備
- ↓
- (4)入庫誘導
- ↓
- (5)入庫完了

●暗証No呼び

入庫車それぞれが登録してある暗証No.を押し該当ケーjを呼び出します。

●ケーjNo呼び

ケーjの番号によって該当ケーjを直接呼び出します。

(1)入庫ケーj呼び操作（空ケーj呼び）

①暗証No.呼び

●一般利用者・契約利用者併用時（管理者駐在）

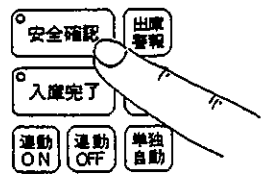
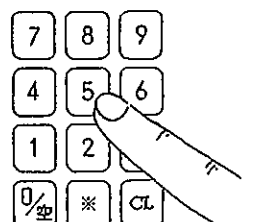
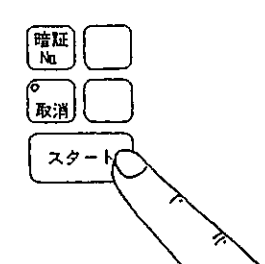
小扉内の 押ボタンを押してランプが消灯しているのを確認してください。

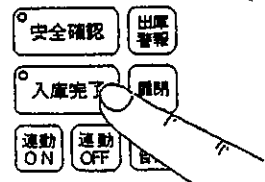
表示内容	押ボタン操作・機械装置の作動および誘導
(通常表示)	パーキング内の安全確認後、 押ボタンを押すと ランプが点灯します。
呼操作	
カーソルが点滅します。	入庫する前に 押ボタンを押し、利用者の暗証No.を確認します。
アンショウNo.	
アンショウNo.****	確認した暗証No.（4ケタ）を押します。*1
入 07 スタートマチ	
呼びケーj番号	呼ばれる空ケーjが表示されます。ディスプレイを確認後、 押ボタンを押します。
07 マチ 30 *05	
呼びケーj番号 残り待ち時間(秒) 呼びケーjが着床するまでの時間	
着床ケーj No. 現在、着床しているケーjの番号	
在車状況 着床ケーjが在車なら「*」、空車なら「*」	
(ケーjの回転とともに変化します)	

表示内容	押ボタン操作・機械装置の作動および誘導
おまたせしました	呼びケーjが到着し、扉が開きます。
お入り下さい	車を入庫誘導します。
完了ボタン マチ	入庫が完了すると、 押ボタンのランプが点滅し、ブザーが鳴ります。安全確認後、 押ボタンを押します。扉が閉ります。（かならず、押してください）
(通常表示)	

●利用契約者のみ（管理者不在）

小扉内の「安全確認」押ボタンを押してランプが点灯しているのを確認してください。
その後は、暗証No.以外受付けません。

表示内容	押ボタン操作・機械装置の作動および誘導
(通常表示)	パーキング内の安全確認後、「安全確認」押ボタンを押すと「安全確認」ランプが点灯します。
アンショウNo. <input type="text"/>	 自分（利用者）が持っている暗証No.（4ケタ）を押します。*1
アンショウNo.****	
入 07 スタートマチ	呼ばれる空ケージが表示されます。 ディスプレイを確認後、「スタート」押ボタンを押します。
07 マチ 30 *05	
呼びケージ番号 着床ケージNo. 現在、着床しているケージの番号 在車状況 着床ケージが在車なら「*」、空車なら「#」 残り待ち時間(秒) 呼びケージが着床するまでの時間 呼びケージ番号 (ケージの回転とともに変化します)	

表示内容	押ボタン操作・機械装置の作動および誘導
おまたせしました	呼びケージが到着し、扉が開きます。
お入り下さい	車を入庫させます。
完了ボタン マチ	安全確認後、「入庫完了」押ボタンを押します。扉が閉ります。 (かならず、押すよう指導してください。また、扉の閉ったことを確認して退出させるように指導してください。)
(通常表示)	

*1 ●暗証No.設定後ブザーが鳴った場合は、照合不能の暗証No.ですので、再度初めから設定してください。

CL 押ボタン：同一画面 アンショウNo. で再設定できます。

取消 押ボタン：通常表示 空25 在05 *08 に戻ります。

●照合不能の暗証No.を続けて3回設定しますとブザーが鳴動し、以後設定できませんので64ページ以降の異常内容と処理の説明を参照して操作してください。

(注) 設備によって暗証No.設定チェック回数が異なる場合があります。

●暗証No.を表示させたくない場合はサービスセンターに連絡してください。

② ケージ呼び

● 管理者自身の操作

小扉内の ボタンを押してランプが消灯しているのを確認してください。

表示内容	押ボタン操作・機械装置の作動および誘導
(通常表示)	パーキング内の安全確認後、 ボタンを押すと、 ランプが点灯します。
呼操作	 キーボードで を2度押します。*1 (指定ケージを呼ぶ時は2ケタの指定ケージNo.を押します。*2)
呼操作 00	 呼ばれる空ケージが表示されます。*3 ディスプレイを確認後、 ボタンを押します。
入 07 スタートマチ	
07 マチ 30 *05	
(ケージの回転とともに変化します)	

表示内容	押ボタン操作・機械装置の作動および誘導
おまたせしました	呼びケージが到着し、扉が開きます。
お入り下さい	車を入庫誘導します。
完了ボタン マチ	入庫が完了すると、 ボタンのランプが点滅し、ブザーが鳴ります。 安全確認後、 ボタンを押します。扉が閉ります。 (かならず、押してください)
(通常表示)	

*1 と2度押すと、もよりの空ケージが自動的に呼び出されます。

*2 指定ケージ番号が2ケタの場合は、その番号を押してください。また、1ケタの場合は、 ボタンを押してからケージ番号を押してください。

(例) 指定ケージ番号が21番 →
 指定ケージ番号が7番 →

*3 この時ディスプレイに

(7番のケージを呼び出す場合)

と出庫の表示がされた場合は、すでに指定ケージに車が入庫していることを表します。これは設定ミスですから、 ボタンを押して、操作をやり直しケージ番号を変えてください。なお、ブザーが鳴った時は設定ミスですから、同様に ボタンを押して最初から操作してください。

自動運転のケージ呼びキャンセルの方法

ケージ呼び操作を始めた後、呼び出しのキャンセルや別ケージの呼び出しを行う場合は、 ボタンが点灯している間に ボタンを押してください。

ボタンを押すと、回転中のケージは停止します。停止後、最初から操作し直してください。

(注) キャンセルや別ケージを呼ぶ場合は ボタン以外のボタン (ボタンや 切替ボタン) は使用しないでください。

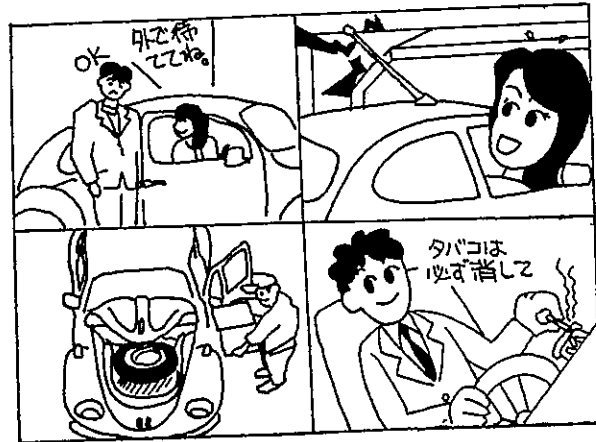
(2) 入庫車の確認

入庫車は、入庫可能車かどうかをチェックしてから、入庫させてください。チェックにあたっては「8. 利用許可を与える場合」(29ページ)を参照にしてください。



(3) 前面空地での入庫誘導準備

- 同乗者がいる場合は降車させてください。
- アンテナを下げてください。
- 車から降ろす荷物があるかどうかを確認し、ある場合には降ろしてください。
- ドライバーがタバコをすっている時は、火を完全に消すように注意してください。

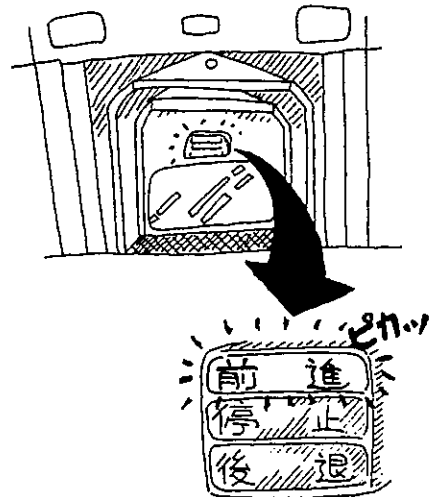


(4) 入庫誘導

●入庫指示灯の確認

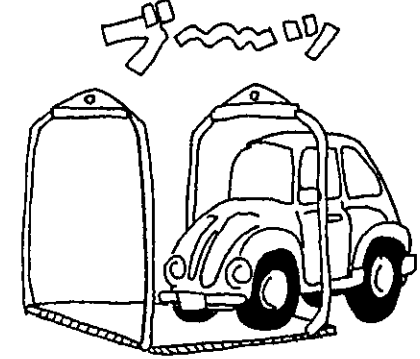
パーキング内の入庫指示灯“前進”が点灯していることを確認した後、入庫誘導してください。

(注) 入庫指示灯の点灯は、ケージが正常位置に着床していることを示します。点灯前に入庫させると、重大事故を誘発するおそれがありますので、かならず点灯を確認してください。



●徐行運転

車の入庫は、前の鏡を見ながらかならず徐行運転で行うよう指示してください。



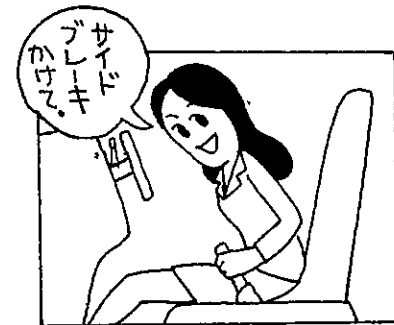
●入庫時の警報音

入庫する時、車がケージにかかると警報音が鳴り始めますが、そのまま前進させてください。車が所定位置に達すると警報音が停止しますので、ドライバーに合図して車を停止させてください。

(注) 警報音は、車がパレットの所定の位置にないことを示しています。車がパレット中央の所定位置に停止するように誘導してください。

●サイドブレーキの確認

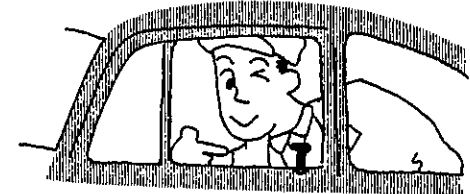
車が停止した後、ギヤをローかバックに入れてください(オートマチック車の場合はPレンジ)。また、かならずサイドブレーキを引かせてください。



●車のドアの確認

車から離れるまえに、車のドアが確実にロックしてあるかどうかを確認させてください。

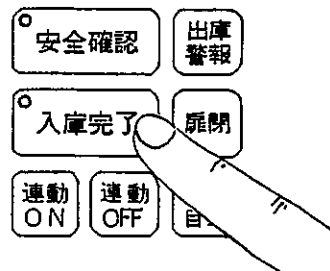
(注) ドアの閉め忘れは、ドアを破損するおそれがあるばかりでなく、機械装置に重大な影響を与えることがあります。かならず確認してください。



(5) 入庫完了

次の操作にうつる前に、以下の点をもう一度確認してください。

- 車のドアが完全に閉まっているか。
- パーキング内に人が残っていないか。
- 車のルーフやボンネットに荷物の置き忘れなどがないか。



パーキング内の安全確認後、「入庫完了」押ボタンを押すとブザーが停止し、入庫したことが登録されます。この時、「入庫完了」押ボタンを押し忘れると未登録となり、スムーズな出庫の妨げとなります。「入庫完了」押ボタンは確実に押してください。

- (注) 「入庫完了」押ボタンを押すと扉が閉まります。扉は入口部の光電管を遮光すると閉まりません。また、閉動作中のときは反転して開きます。退場の際かならず扉がしまっていることを確認してください。このとき扉が開いていたなら「扉閉」押ボタンを押して扉を閉めてください。

(6) 方向転換装置 (ターンテーブル)

ターンテーブルは、車が入庫してもすぐには旋回しません。旋回は次のケージ呼び操作をするか、「車検自動」押ボタンを押さないかぎり旋回しません。

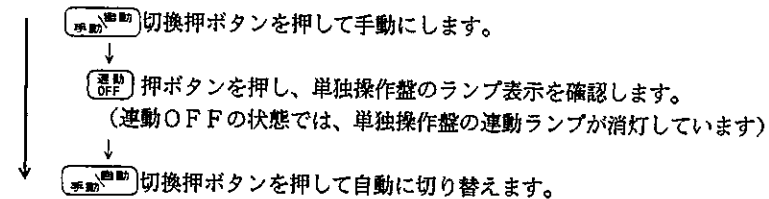
- (注) 1. 入庫した後、他のケージ呼び操作の前に出庫する場合は、着床しているケージ番号を押してください。その場合はいったん出入口扉が閉まり、ターンテーブルが旋回し、旋回完了後、出入口扉が開きます。
2. 一度旋回をしたパレットは、「車検自動」押ボタンや着床ケージ番号を押しても旋回しません。

(7) 連続入庫操作

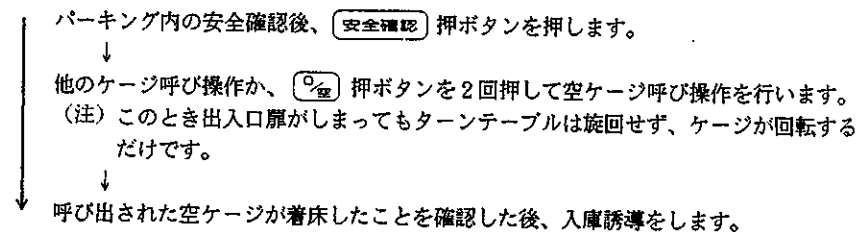
入庫車が集中した場合は、一回一回のターンテーブル動作の時間を短縮するために、連続入庫操作が行えます。

連続入庫操作では、まず本体とターンテーブルの連動をOFFにした状態で、入庫操作のみを連続で行います。その後、入庫車がとぎれたら連動OFFを解除し、先ほど入庫させた車をひとつひとつターンテーブルによって旋回させていきます。

連動OFF

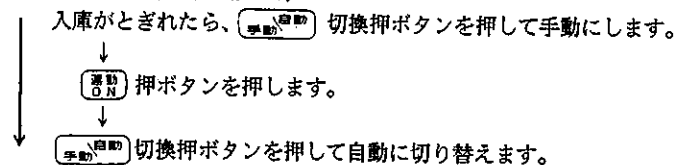


連続入庫



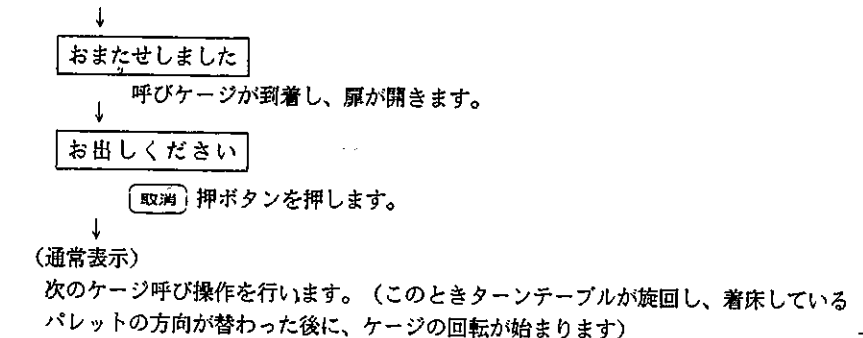
入庫車が続いているあいだ、この順序で連続入庫させます。(注) 連動OFFの状態に入庫させたケージNoは、必ずメモなどに記録しておいてください。

連動OFFの解除 (連動ON)



連続入庫車のパレット旋回

連続入庫させたケージNoの記録をもとにして、連続入庫させたケージを、出庫ケージ呼び操作の手順で呼び出します。(出庫ケージ呼び操作は48ページを参照してください)
(注) 連続入庫させたパレットは未旋回なので、ケージ呼びを行ってひとつひとつ旋回させます。



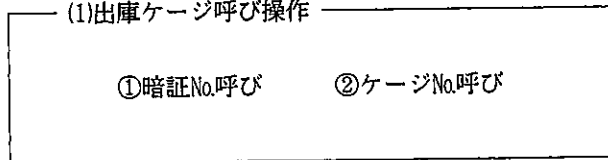
この操作をすべての連続入庫車のケージについて行い、パレットの方向を替えます。

最後のケージについては、「安全確認」押ボタンを押してから、着床しているケージNoの出庫呼び出しを行ってパレットの方向を替えます。

3. 出庫操作方法

パーキング内の出庫は、以下の順序で行います。

(1)出庫ケージ呼び操作



(2)出庫誘導

(3)出庫完了

(1)出庫ケージ呼び操作

①暗証No.呼び

●一般利用者・契約利用者併用時（管理者駐在）

小扉内の 押ボタンを押してランプが消灯しているのを確認してください。

表示内容	押ボタン操作・機械装置の作動および誘導
(通常表示)	パーキング内の安全確認後、 押ボタンを押すと ランプが点灯します。
呼操作	 出庫する前に 押ボタンを押し、利用者の暗証No.を確認します。
アンショウNo.	確認した暗証No.（4ケタ）を押します。*1
アンショウNo.****	 *1

表示内容	押ボタン操作・機械装置の作動および誘導
出 07 スタートマチ	ディスプレイを確認後、 押ボタンを押します。指定ケージが呼び出されます。
07 マチ 30 *05	 着床ケージNo. 現在、着床しているケージの番号 在車状況 着床ケージが在車なら「*」、空車なら「0」 残り待ち時間(秒) 呼びケージが着床するまでの時間 呼びケージ番号 (ケージの回転とともに変化します)
おまたせしました	指定ケージが到着し、扉が開きます。
お出し下さい	車を出庫誘導します。
(通常表示)	出庫完了。 かならず 押ボタンを押します。扉が閉ります。

●契約利用者のみ（管理者不在）

小扉内の（）押ボタンを押してランプが点灯しているのを確認してください。
その後は、暗証No.以外受けません。

表示内容	押ボタン操作・機械装置の作動および誘導
(通常表示)	
アンショウNo. <input type="text"/>	<p>パーキング内の安全確認後、 押ボタンを押すと ランプが点灯します。</p>
アンショウNo.****	<p>確認した暗証No.（4ケタ）を押します。*1</p>
出 07 スタートマチ	<p>ディスプレイを確認後、 押ボタンを押します。 指定ケージが呼び出されます。</p>
07 マチ 30 *05	
<p>呼びケージ番号 残り待ち時間 呼びケージが着床するまでの時間</p> <p>在車状況 着床ケージが在車なら*、空車なら、空</p> <p>着床ケージNo. 現在の番号 ケージの番号</p> <p>（ケージの回転とともに変化します）</p>	

表示内容	押ボタン操作・機械装置の作動および誘導
おまたせしました	<p>指定ケージが到着し、扉が開きます。</p>
お出し下さい	<p>車を出庫させます。</p>
(通常表示)	<p>出庫完了。 かならず 押ボタンを押します。扉が閉まります。 また、出入口扉の閉まったことを確認して退出するよう指導してください。</p>

- *1 ●暗証No.設定後ブザーが鳴った場合は、照合不能の暗証No.ですので、再度始めから設定してください。
- 押ボタン：同一画面 アンショウNo. で再設定できます。
- 押ボタン：通常表示 空25 在05 *08 にもどります。

- 照合不能の暗証No.を続けて3回設定しますとブザーが鳴動し、以後設定できませんので64ページ以降の異常内容と処理の説明を参照して操作してください。
(注) 設備によって暗証No.設定チェック回数が異なる場合があります。
- 暗証No.を表示させたくない場合はサービスセンターに連絡してください。

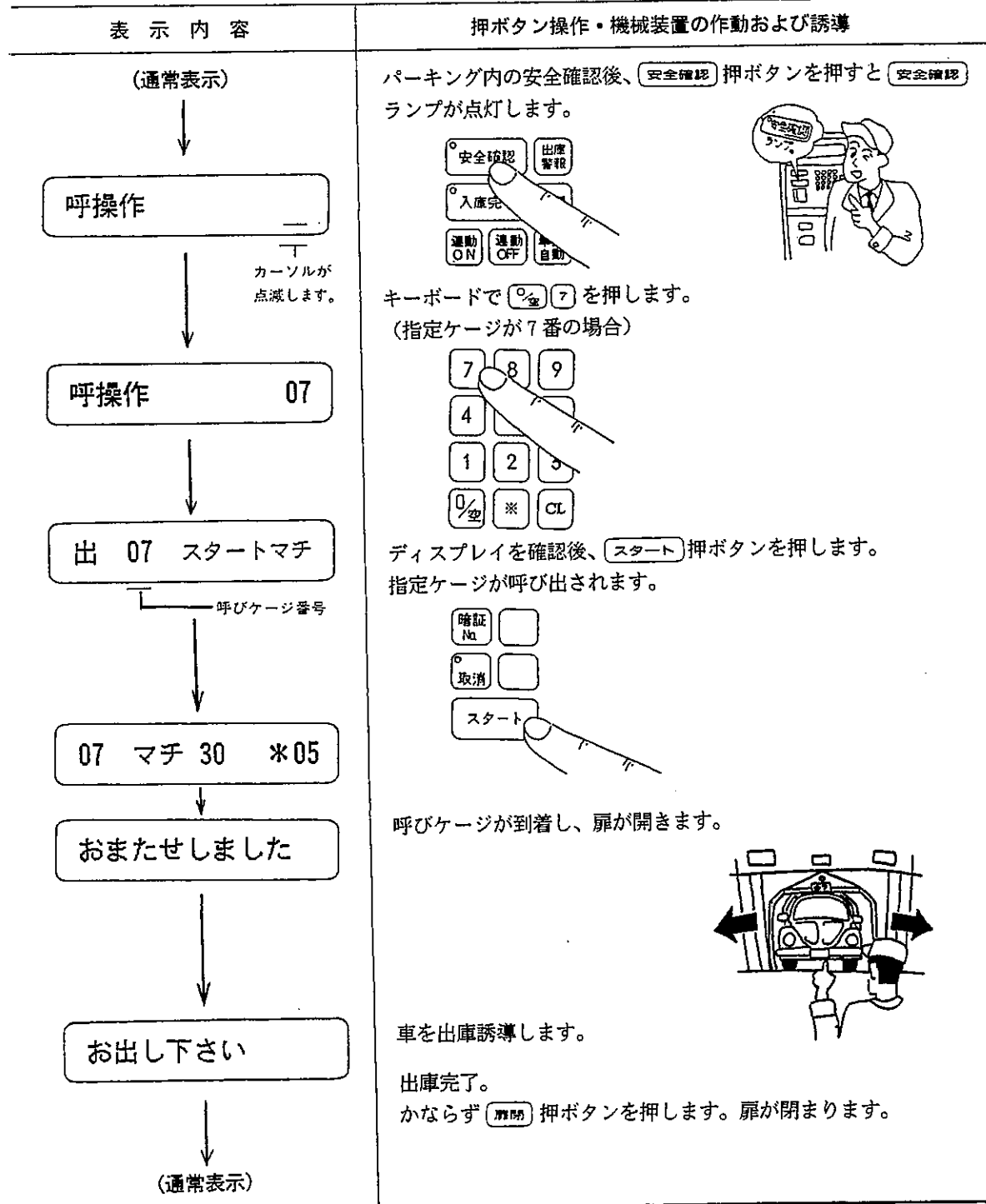
② ケージNo呼び

● 管理者自身の操作

ドライバーから、出庫ケージ番号が記載されているもの（駐車券など）を受取り、呼び寄せるケージ番号を確認してから、操作にうつります。

小扉内の^{安全確認}押ボタンを押してランプが消灯していることを確認してください。

7番のケージを呼び出す場合



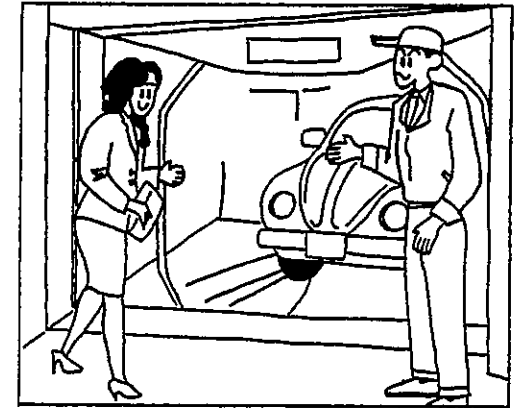
(2) 出庫誘導

● ケージの着床確認

呼び出したケージが完全に着床、停止したことを確認した後、車に乗込んでください。同乗者がいる場合はパーキングの外で待たせ、パーキング内に入らないように指導してください。

● 徐行運転

出庫は、かならず徐行運転で行うよう指導してください。



(3) 出庫完了

● 同乗者の乗り込み、荷物の積み込み

車がパーキングの外へ完全に庫出しした後、一旦停止させ、同乗者や荷物を乗せてください。

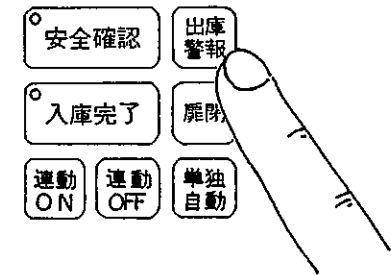
(4) 出庫警報灯の作動

出庫警報灯は、赤色のランプの点灯とブザーによって、入庫待機車および通行人などに庫出しを知らせる装置です。

作動は操作盤の^{警報}押ボタンを押して行います。設備によっては、出庫時に自動的に作動するものがありますが、この場合は^{警報}押ボタンを押す必要はありません。

また、作動している出庫警報灯は自動的に停止しますが、途中で停止させたい場合はもう一度^{警報}押ボタンを押してください。

(注) 設備によっては^{警報}押ボタンを取付けていないものがあります。



10 手動運転の方法

1. 手動運転の目的

手動運転の機能は、保守点検時および非常時でも運転できるように設けられています。手動運転中は、安全装置が一部作動しないので、常時の使用は避けてください。

また手動運転を行う場合は、サービスセンターにその理由をつたえ、指示をあおいでください。

- (注) 1. 特に安全に注意をはらって操作を行ってください。
2. 自動運転と異なり各装置が連動しません。操作はおのおのの装置ごとに単独で行ってください。
 3. **非常停止** 押ボタンおよび **非常** 押ボタンの機能は、自動運転時と同様です。
 4. 庫内に設置してある単独操作盤は、保守点検用に設置してあるもので、単独操作盤からのターンテーブル操作は絶対に行わないでください。



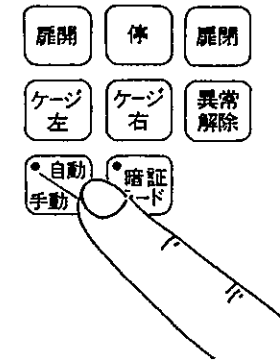
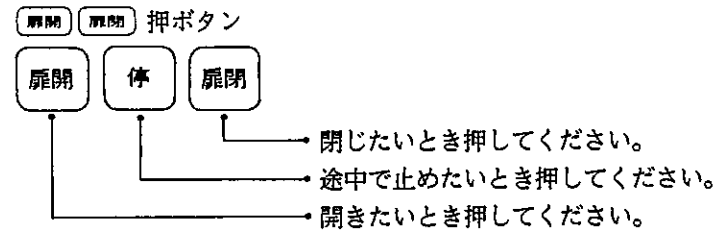
2. 手動運転の方法

手動運転の手順

- (1) 自動運転から手動運転に切替えます。
- (2) **扉開** 押ボタンで扉を開きます。
- (3) パーキング内の状況を確認します。
- (4) ドアプロテクタ単独操作盤にある停止位置正常ランプの点灯を確認後、**開** スイッチで、ドアプロテクタを起立させます（ドアプロテクタが装備してある場合）。
- (5) パーキング内の安全を確認し、**安全確認** 押ボタンを押します。
- (6) **ケージ左** **ケージ右** 押ボタンのどちらかを押します。
- (7) 運転完了後、**扉閉** 押ボタンで扉を閉じます。
- (8) 手動運転完了後は、必要に応じてサービスセンターに連絡してください。

自動/手動 切換押ボタン

通常（自動）運転の場合はランプが点灯しています。押ボタンを一度押すと手動に切り替わり、ランプが消灯します。もう一度押すと、再び自動に切り替わります。



安全確認 押ボタン

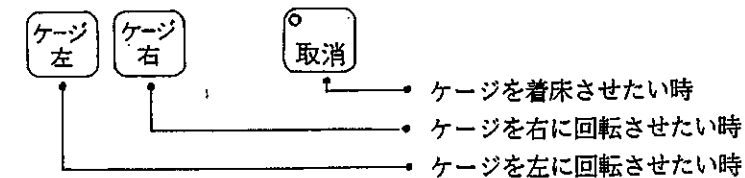
パーキング内の安全を確認してから押ボタンを押します。

ケージを作動させる場合

ケージ左 か **ケージ右** のどちらかの押ボタンを押してください。ケージが左または右に回転します。ただし、ケージは自動的に停止しません。

ケージを停止させる場合

ケージの停止は **取消** 押ボタンで行います。**取消** 押ボタンの点灯中に押すと、ランプが消滅し、定位置に着床します。



次のことを厳守してください。

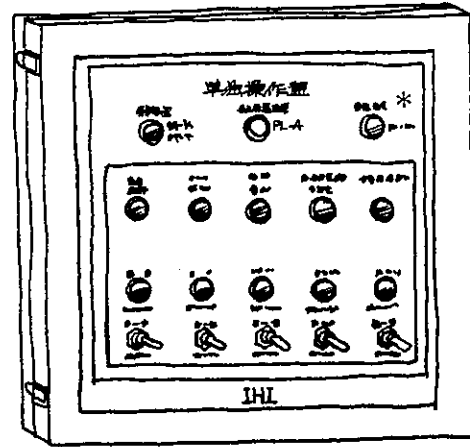
ターンテーブル単独操作盤からの操作が必要と判断した場合は、サービスセンターに連絡してください。

ドアプロテクタ付きの場合

ドアプロテクタ付きの装置で手動運転を行う場合は、「ドアプロテクタ単独操作盤」（52ページ）をご参照ください。

II 単独操作盤

ドアプロテクタの操作は、パーキング内奥に設置してある単独操作盤で行えます。ただし、通常の自動運転では他と連動して作動するため、特別に操作する必要はありません。

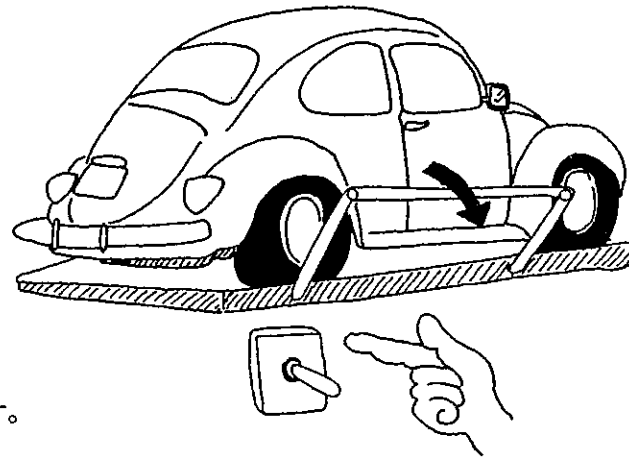


開 スイッチ

開 スイッチを押すと、プッシャーが前面に押し出され、ドアプロテクタを倒します。

*連動ランプ

本体とターンテーブルとが連動ONの場合は点灯、連動OFFの場合は消灯しています。



閉限表示

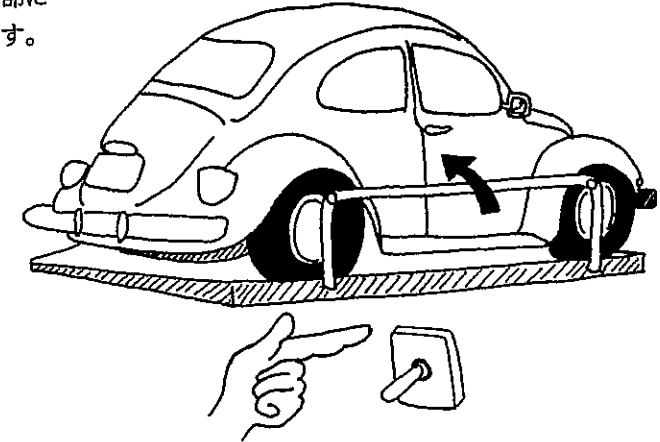
ドアプロテクタが倒れている時に点灯します。

停止位置正常表示

ケージが正常な位置にある時に点灯します。点灯していない時はドアプロテクタの操作を行わないでください。この場合は、本体操作盤でケージを正常な位置に修正した後、操作を行ってください。


開 スイッチ

開 スイッチを押すと、プッシャーが駆動部に引込まれ、ドアプロテクタが起き上がります。



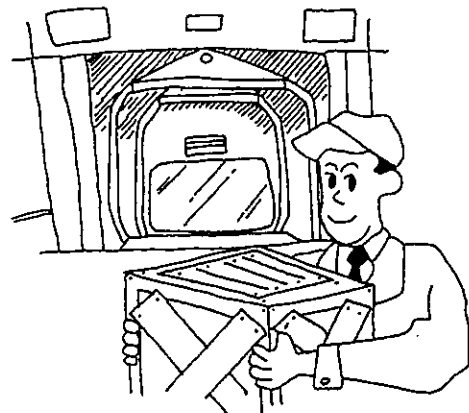
閉限表示

ドアプロテクタが起きている時に点灯します。

- (注) 1. 本体の手動運転は、必ず閉限表示が点灯しているのを確認したのちに行ってください。
2. 手動運転終了時は、閉限または開限ランプが点灯しているのを確認した後、 切換押ボタンで自動に切換えてください。ランプが点灯していないと、本体の自動運転はできません。

12 始業点検

1. パーキングの前面空地の点検を行い、障害物等があれば取除いてください。



2. 操作盤の電源を入れ、操作盤の **手動** 切換押ボタンを押して手動運転に切換え、つぎに **扉開** 押ボタンを押して扉を開いてください。パーキング内の照明をつけてください。

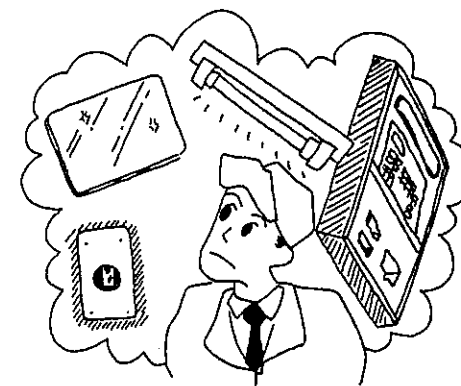
3. 分電盤の中にある以下の開閉器を確認してください。

- 主電源用開閉器（常時ON）
- 誘導灯用開閉器（常時ON）
- 100V用開閉器（常時ON）
- 扉開閉用開閉器（常時ON）

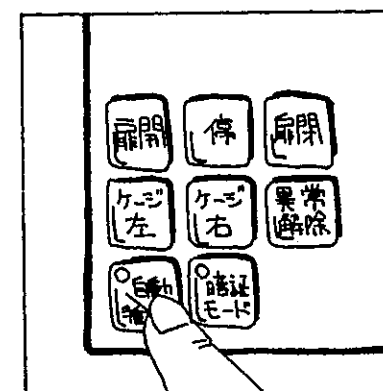
4. パーキング内の点検を行い、障害物等があれば取除いてください。



5. 定位置誘導用ミラー、蛍光灯、操作盤、各光電管、扉などに異常がないことを確認してください。



6. 操作盤の **手動** 切換押ボタンを押して自動に切換えてください（ランプの点灯を確認してください）。

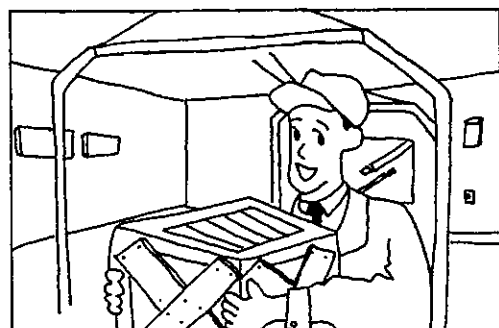


7. 自動運転で、一度任意のケージを呼び出してみます。その時、異常音やその他の異常がないことを確認してください。異常があった場合は、サービスセンターに連絡してください。

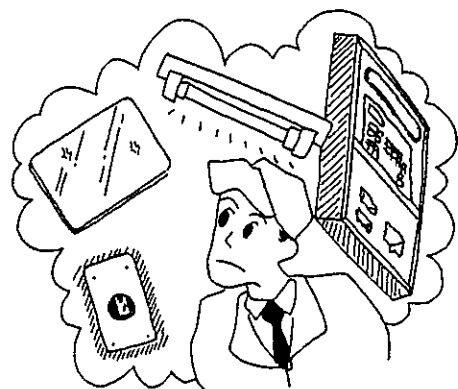
13 終業点検

1. パーキング内の点検を行い、異物がないことを確認してください。

車等の機械部品がある場合は、サービスセンターに連絡してください。

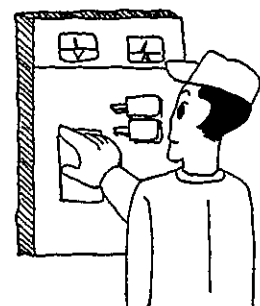


2. 定位置誘導用ミラー、蛍光灯、操作盤、各光電管、扉などに異常がないことを確認してください。



3. 分電盤の中にある以下の開閉器のON、OFFを確認してください。

- 主電源用開閉器 (常時ON)
- 誘導灯用開閉器 (常時ON)
- 100V用開閉器 (常時ON)
- 扉開閉用開閉器 (常時ON)



4. パーキングの前面空地の点検を行い、障害物等があれば取除いてください。

14 非常停止をする場合

1. 自動運転中に緊急停止させたい場合は、操作盤の赤い **非常停止** 押ボタンを押してください。すべての装置（消火設備を除く）がいかなる動作中でもただちに停止します。

(注) **車動切替** 切替押ボタンでの非常停止は行わないでください。



2. パーキング内にいる時、万一装置が動き始めた場合は、パーキング内にある赤い **非常ボタン** を押すと、装置を緊急停止させることができます。またパレットの前後にある光電管（85、88光電管、13ページ参照）を遮光した場合でも、急停止させることができます。




(注) 装置が動く前には、かならず起動ベルが鳴ります。パーキング内にいる時、万一ベルが鳴り始めたら、すみやかにパーキング内から退出するか、近くの **非常ボタン** を押してください。

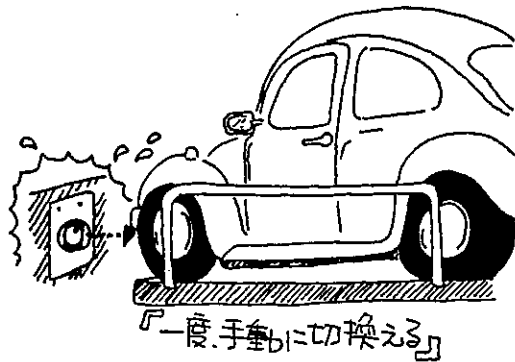


15 非常時の心得

3. 非常停止させると、通常運転の停止と異なり、速度制御をしない急停止となります。非常時以外にはけっして使用しないでください。また管理者以外の方が非常停止を行った場合は、ただちにその状況を把握してください。

4. まず、非常停止をした理由、状況を十分に把握し、サービスセンターに連絡して指示を受けてください。

通常の自動運転にもどすには、内部の安全を確認してから、 切換ボタンを一度手動に切換え、 押ボタンを押した後、再び自動に切換えます。これで通常運転が可能になります。ただし非常停止した時、ケージや車などが光電管（87光電管、13ページ参照）を遮光した状態であると、そのままでは自動運転ができません。この場合は、手動運転に切換え、ケージや車などが光電管を遮光しない位置へ操作した後、 押ボタンを押してから自動運転に切換えてください。



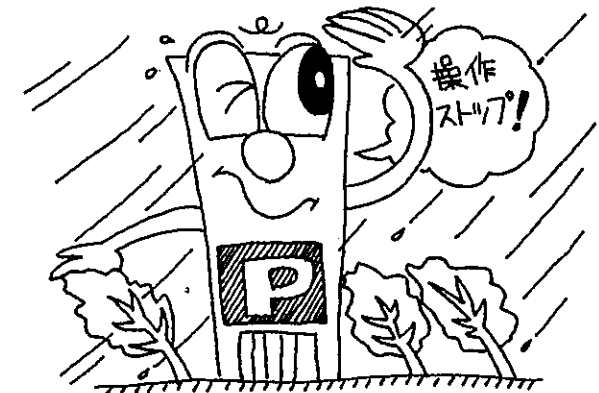
1. パーキングの事故

- (1) すみやかに装置を停止させ、主電源をOFFにしてください。
- (2) 事故の状況を把握し、適切な処置をとってください。
- (3) かならずサービスセンターに連絡してください。なお人身事故などの重大な事故の場合だけ、警察(110番)または消防署(119番)に通報してください。



2. 台風

- (1) 台風の時は、なるべく運転しないでください。
- (2) 台風通過後に運転を開始する時は、始業点検（54ページ参照）を行って異常がないことを確認してください。



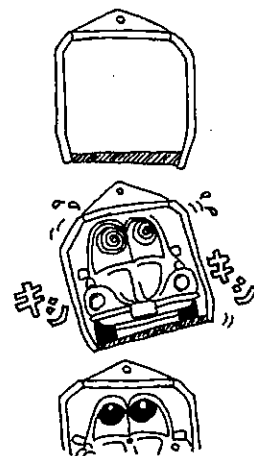
3. 火災

- (1) 火災警報がなったら、まず火災が発生したことを確認してください。
- (2) パーキング内に人がいないことを確認してください。
- (3) もしパーキング内またはパーキングの周辺に人がいる場合、すみやかに避難するように指示してください。
- (4) 別渡しの「消火設備取扱い説明書」の手順にそって、消火活動を行ってください。
- (5) 消防署(119番) およびサービスセンターに連絡してください。



4. 地震

- (1) 運転中のパーキングは、ただちに停止してください。
- (2) パーキング内に人がいる場合は、すみやかに避難させてください。
- (3) 安全のため、主電源を切ってください。
- (4) 地震後、運転を開始する前には、地震の大きさによって以下の事項を点検、確認してください。



- 震度5以上の場合（壁に割目が入る、石垣がくずれ、棚の物が落ちる、建物に被害が出る程度の地震）

- ・ 震度5以上の大型地震発生後は、サービスセンターに連絡し、特別点検を受けてください。



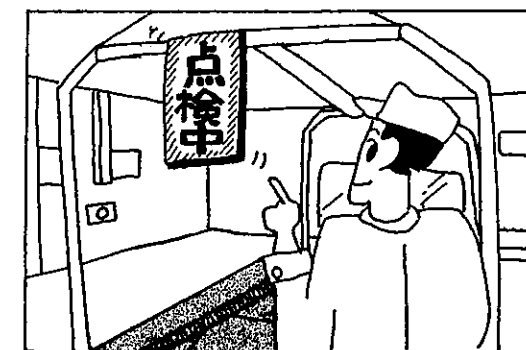
- 震度4程度の中震の場合（あるいている人が感じる、家屋動揺が激しい、花びん等が倒れる程度の地震の場合）

- ・ パーキング内に入り、車等がケージからはみ出していないかを点検してください。
- ・ チェーンガイドレールからチェーンローラが脱輪していないかを点検してください。
- ・ 直線ガイドレールから下ケージローラが脱輪していないかを点検してください。
- ・ ビル組込方式のパーキングでは、取合部関係に破損がないかを点検してください。
- ・ 以上の点検後、異常がなければ手動運転を開始します。左右一回転ずつならし運転を行い、異常がなければ通常運転にもどってください。ならし運転時は、とくに異常音に注意し、もし発生した場合はただちに停止して、サービスセンターに連絡してください。

- (注) パーキング内に入り点検を行う場合は、操作盤かパーキング出入口の目立つ所に「点検中」の張り紙を張るなどして、かならずパーキング内に作業中であることが外からわかるようにしてください。またパーキング内に入る前に分電盤の主電源用開閉器と消火装置用の電源を、かならずOFFにしてください。

- 人に感じる程度の弱震の場合


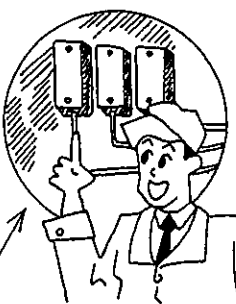
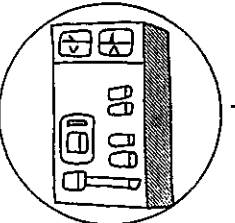
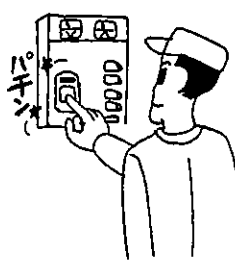
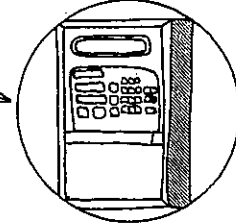

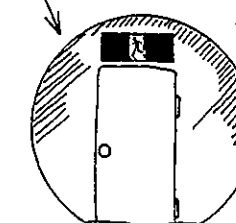


- ・ 手動運転を行い、全ケージの入庫状況を確認してください。とくに異常音に注意し、もし発生した場合はただちに停止して、サービスセンターに連絡してください。


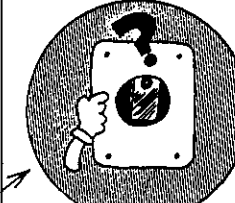
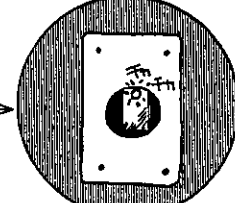
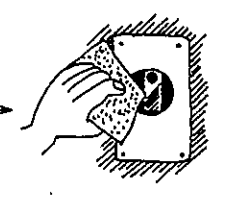
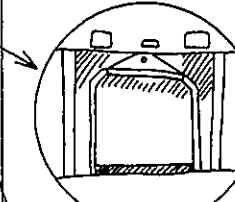


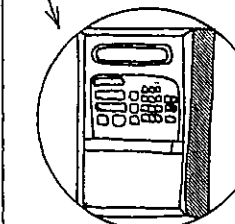
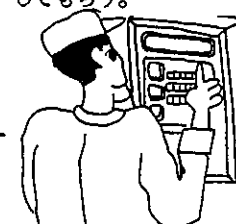

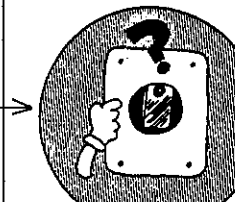
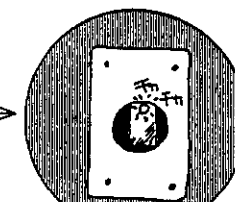
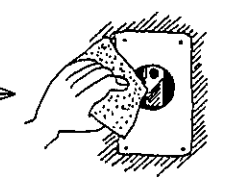


16 簡単な修理と応急処置

日常のちょっとした故障は、次のような簡単な処置を行って修理することができます。なお、これらの処置を行ってもなおらない時

や、掲載していない状態になった場合は、サービスセンターに連絡し、緊急点検を受けてください。

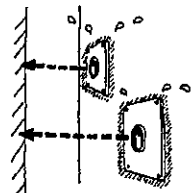
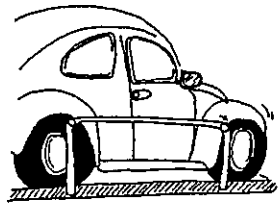


故障の状態	確認箇所	確認事項	処置
 まったく運転ができない(手動、自動とも)。操作盤のディスプレイになにも表示されない。	 電源関係	 分電盤のノーヒューズブレーカはONか。	 ノーヒューズブレーカをONにする。
	 操作盤の電源スイッチはONか。		 電源スイッチをONにする。
	 脱出口	 脱出口が開っているか。	 脱出口を閉める。

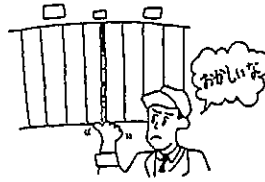
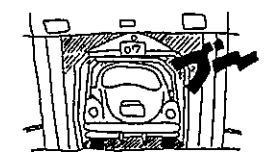
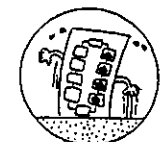

故障の状態	確認箇所	確認事項	処置
 電源をすべてONにし、安全確認 押ボタンを押したが点灯せず運転できない。	 光電管関係 (警報音が鳴っている)	 85, 85A, 88A, 88光電管の動作ランプが点灯しているか。	 レンズのくもりを清掃する。
	 パーキング内	 人がパーキング内にいないか。	 パーキング内から退出してもらう。
	 操作盤の電源スイッチ		 電源スイッチをON→OFFにしてみる。
 手動運転はできるが、自動運転ができない。	 光電管関係	 87光電管の動作ランプが点灯しているか。	 レンズのくもりを清掃する。


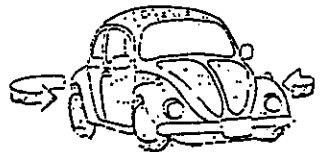
異常内容と処理

パーキング内に異常が発生すると、操作盤のディスプレイに表示されます。またパーキングが作動していれば即時停止します。すみやかに異常発生の原因を調べ、以下のように処理してください。

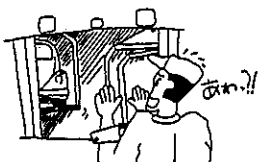


なお、処理がすんだ後 **異常** 押ボタンを押してディスプレイの異常表示が消えたことを確認してから、**手動** 切換押ボタンで通常の自動運転に戻ってください。

異常表示	発生要因	処置
*コウデンカン	 パーキング作動中に90, 85, 85 A, 88 A, 88光電管を遮光した。	手動運転に切換える ↓ 障害物などを撤去する ↓ 異常 押ボタンを押す ↓ 自動運転に切換える
*ドアプロテクター	 ドアプロテクターが閉じる際に、完全に立ち上らない。	障害物などを撤去する ↓ 手動運転に切換える ↓ ドアプロテクター単独操作盤で、一度開閉の操作をする ↓ 異常 押ボタンを押す ↓ 自動運転に切換える
*トビライリグチ	 所要時間内に扉の開閉が行われなかった。	異常 押ボタンを押す ↓ サービスセンターに連絡し、指示を受ける
*ヒジョウテイシ	 操作盤がパーキング内の 非常停止 押ボタンまたは 非常 ボタンを押した。	手動 切換押ボタンを2度押し、警報音を停止させる ↓ サービスセンターに連絡し、指示を受ける

異常表示	発生要因	処置
*ケージエラー	 所要時間内にケージの移動が行われなかった。 所要時間内に操作盤と制御盤の信号授受が行われなかった。	異常 押ボタンを押す ↓ サービスセンターに連絡し、指示を受ける
*アンショウエラー	 暗証No.による入出庫操作で暗証No. (4ケタ) を押す際、誤ったNo.を押して、ブザーが鳴った。	異常 押ボタンを押す ↓ 暗証No.を再確認する
*サーマル	 主モータ (ケージ用) のサーマルトリップか、ドアプロテクター用モータのサーマルトリップが発生した。	電源スイッチをOFFにする ↓ サービスセンターに連絡し、サービス員が来るまで待機する
*カクド	 機械作動速度が異常になった。	手動 切換押ボタンを2度押し、警報音を停止させる ↓ サービスセンターに連絡し、サービス員が来るまで待機する

異常表示	発生要因	処 置
*TT LS	 ターンテーブル関係の電気部品が故障している	<p>手動 切換押ボタンを2度押し警報音を停止させる</p> <p>↓</p> サービスセンターに連絡し、サービス員が来るまで待機する
*TTオーバータイム	 所定時間内にターンテーブルの回転が終了しなかった。	<p>手動 切換押ボタンを2度押し警報音を停止させる</p> <p>↓</p> サービスセンターに連絡し、サービス員が来るまで待機する

オプション機器の取り付けした場合の異常表示

異常表示	発生要因	処 置
*ティン仔	 着床ケージが正常な位置に停止できなかった。	<p>手動 切換押ボタンを2度押し、警報音を停止させる</p> <p>↓</p> サービスセンターに連絡し、指示を受ける
*スペースセンサー *マットスイッチ	 ケージが作動する前にパーキング内に人などがいることを検知した。	手動運転に切換える ↓ 人などを退出させる ↓ 異常 押ボタンを押す ↓ 自動運転に切換える
*タカセイゲン	 入庫可能車の高さ制限を超えた車が入庫しようとした。	突起物があれば取除くか、駐車をことわる ↓ 取消 押ボタンを押す (再度入庫操作をやりなおしてください)

17 在車確認の方法

●機能

各ケージの在庫および空車の状況を01ケージから順に確認できます。

●操作

表示内容	押ボタン操作
(通常表示)	
トウロクモードボタン	1. <input type="button" value="登録"/> 押ボタンを押します。
↓	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between;"> ザイシャ 01 1532 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: left;"> 「ザイシャ」または「クウシャ」* </div> <div style="text-align: center;"> ↓ 確認するケージNo </div> <div style="text-align: right;"> ↑ 在庫時刻 (例)15時32分の場合 </div> </div>	2. 区分コード <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="2"/> を押し、 <input type="button" value="設定"/> 押ボタンを押します。
↓	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between;"> ザイシャ 02 1008 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small; margin-top: 5px;"> <div></div> <div style="text-align: center;"> ↓ 確認するケージNo </div> <div style="text-align: right;"> ↑ 在庫時刻 (例)10時8分の場合 </div> </div>	3. ケージNo.1の在庫情報が表示されます。 <input type="button" value="設定"/> 押ボタンを押すと、次のケージNoと在庫時刻が表示されます。
↓	
トウロクモードボタン	4. 確認したいケージが表示されるまで、 <input type="button" value="設定"/> 押ボタンを押します。
↓	
(通常表示)	5. 確認したいケージの確認が完了したら、 <input type="button" value="※"/> 押ボタンを押します。
	6. <input type="button" value="取消"/> 押ボタンを押します。

*空車の場合は時刻は表示されません。

MEMO